

消防年報

令和4年版



ドローンで撮影した富士宮市と富士山



富士山世界文化遺産登録10周年記念
The 10th anniversary of the inscription of the world heritage Fuji-san

富士宮市消防本部

令和5年発行



富士宮市民憲章

(昭和42年11月1日制定)

わたくしたちは、富士宮市民であることに誇りをもちお互いのしあわせをねがい、よい市民となるために、この憲章を定めます。

- 1 わたくしたちは、富士山を仰ぎ文化を高め、ゆたかな教養を身につけましょう。
- 1 わたくしたちは明るい家庭をつくり、健康な青少年を育てましょう。
- 1 わたくしたちは、恵まれた自然を愛し、清潔な美しいまちをつくりましょう。
- 1 わたくしたちは、社会のきまりを守り、人に迷惑をかけないようにつとめましょう。
- 1 わたくしたちは、心身をきたえ仕事にはげみ、郷土の発展につくしましょう。

目 次

概 要

富士宮市の案内（位置） 1
富士宮市の面積・人口・世帯数 2
消防本部・署（分署）の配置 3
富士宮消防の沿革 4
主な災害歴 9

総務関係

組織機構図 1 0
消防本部事務分掌 1 1
消防署事務分掌 1 2
住民と常備消防力 1 3
歴代消防長 1 3
消防職員の階級別構成 1 4
階級別年齢 1 5
階級別勤続年数 1 6
消防吏員各種免許取得状況 1 7
職員研修状況 1 8
年度別消防予算 1 9
人口と当初予算の推移 2 0

火災関係

火災の概況 2 1
火災の概要 2 2
過去10年間の火災発生状況 2 3
月別火災の概要 2 4
建物火災の状況 2 5
出火原因別火災件数 2 6
出火原因別の推移 2 6

予防関係

予防行政の概要 2 7

建築確認消防同意等件数	27
防火対象物に関する調べ（延面積150㎡以上）	28
防火対象物査察及び防火管理者選任届出状況	29
消防用設備着工・設置届出及び完成検査数	30
防火・防災管理届出・消防計画届出・各点検結果報告数	30
煙火消費許可件数	30
各種届出件数	31
防火管理新規講習実施状況及び再講習	32
火災予防広報	32
住民指導実施状況	33
製造所等の許可、完成検査及び廃止届等の数	34
危険物施設立入検査等件数	34
数量別危険物施設数	35
類別危険物施設数	36

警防関係

各種出動状況及び教育・訓練状況	37
消防車両配置状況	38
消火薬剤備蓄状況	39
消防水利の現況及び新設基数	40

通信・気象関係

119番の受信状況	41
富士市・富士宮市消防指令センター 応援指令状況	41
通信施設の状況	42
富士市・富士宮市消防指令センター系統図	43
無線配置状況	44
富士宮市気象観測結果	46

救助関係

発生場所別事故件数及び月別・事故別出動件数	47
事故別出動車両、出動・活動・救出人員	48
救助資機材の配置状況（省令指定物品等）	49

救急関係

月別事故活動状況	5 2
出動件数の推移と事故種別による出動割合	5 3
出動から現場到着までの所要時間と出動件数	5 4
出動から医療機関収容までの所要時間と搬送人数	5 4
救急講習件数・受講人員	5 4
応急処置別 事故種別実施数	5 5
覚知時間別 事故種別出動回数	5 6
曜日別救急出動件数	5 7
月別救急出動件数	5 7
救急関係資器材の配置状況	5 8

応援協定

消防相互応援協定及び覚書、その他の協定	5 9
静岡県内の消防の現況	6 0

消防団関係

消防団組織図	6 1
消防団の定員及び実員	6 1
歴代消防団長	6 2
消防団員配置状況（実員数）	6 3
年度別消防団員入団及び退団の推移	6 4
消防団員階級別年齢及び在職年数	6 5
消防団消防車両配置状況	6 6
消防団詰所一覧表	7 0
水防倉庫・資機材倉庫配置図	7 2
消防団車両配置図	7 3
消防団協力事業所表示証交付団体	7 4

防火協力団体関係

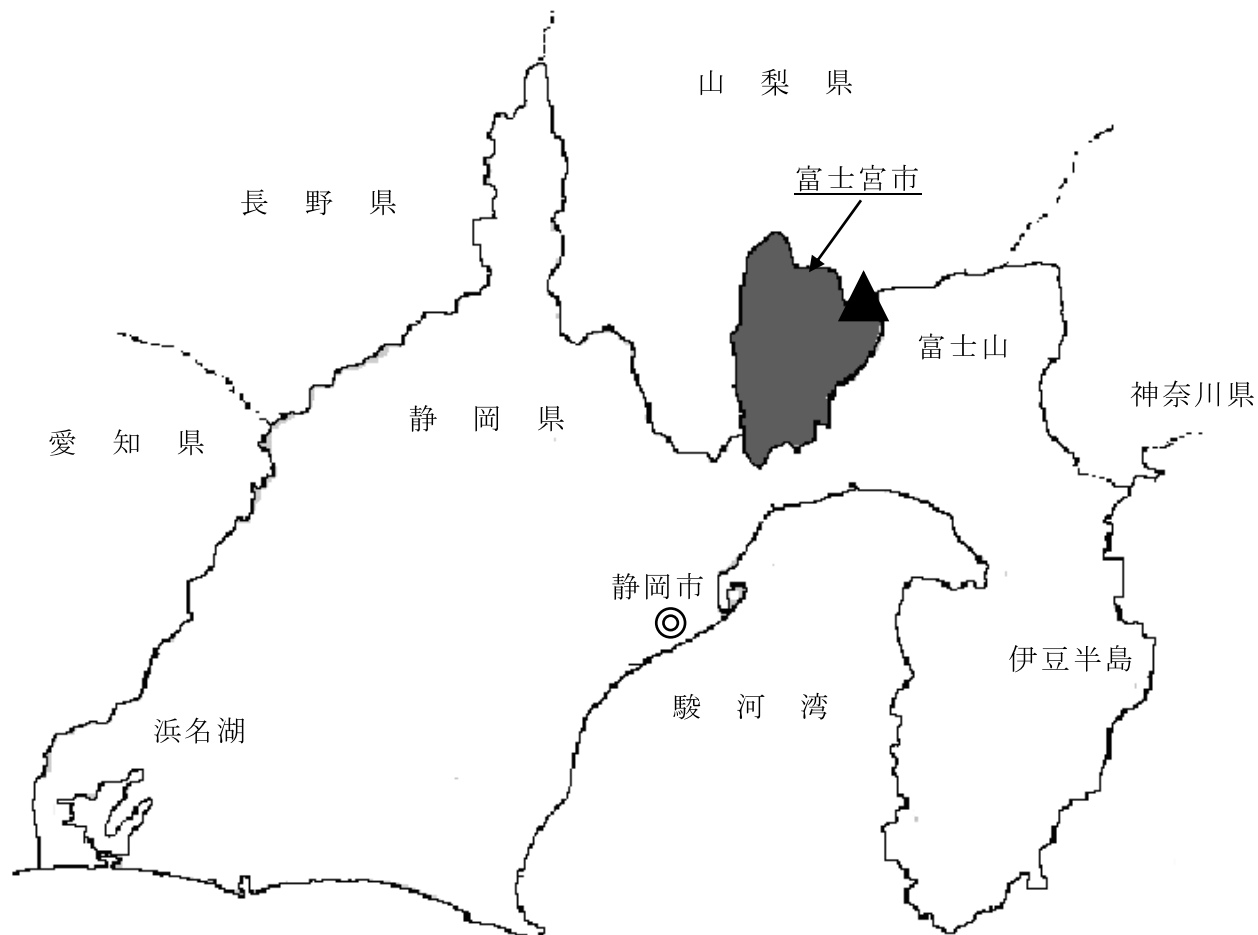
富士宮市防火安全協会	7 5
婦人防火クラブ	7 6
少年消防クラブ	7 7
幼年消防クラブ	7 8

概要



富士山世界遺産センター

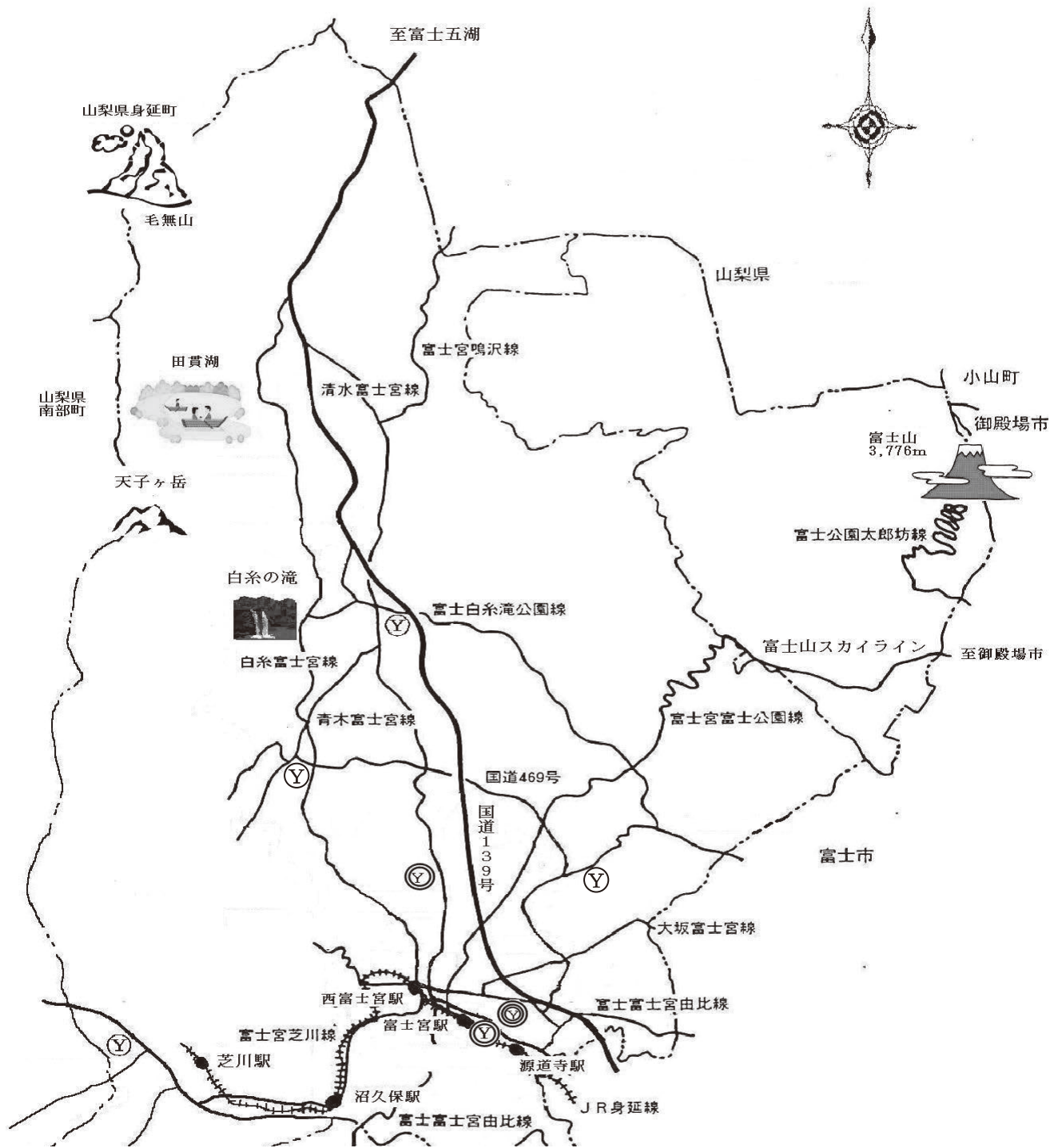
富士宮市の案内（位置）



富士宮市は、富士山の西南麓に位置し、広大な森林や豊富な湧水などの自然に恵まれ、市域の46パーセントが富士箱根伊豆国立公園に指定されています。市域は、南は富士市、北は山梨県と接しており、北方には世界文化遺産である富士山を有し、またその構成資産（富士山信仰の対象と芸術の源泉）である富士山本宮浅間大社・山宮浅間神社・村山浅間神社・人穴富士講遺跡・白糸ノ滝といった文化的資産を有するまちである。

また、ご当地グルメの代表格となった「富士宮やきそば」や豊富な地元資源を生かした「食のまちづくり」を推進するとともに、「富士山の恵みを活かした元気に輝く国際文化都市」実現のため、世界遺産「富士山」の恵みを保全し、活用したまちづくりを進めている。

富士宮市の面積・人口・世帯数



富 士 宮 市			
形状	東西 20.92km	南北 32.63km	
海拔	最高 3,776m	最低 35m	

面積・人口・世帯数

令和5年4月1日現在

面 積	人 口		世帯数
	男	女	
389.08km ²	63,956人	64,750人	58,410世帯
	128,706人		

富士宮消防の沿革

富士宮市の消防の発祥は、明治8年8月に初音町（元城町）から出火し、神田町（大宮町）・仲宿（中央町）・連尺（東町）・青柳（東町）・伝馬町（東町）の330戸を焼失する大火があり、つづいて同年9月にも新立町（西町）から出火、西町の250戸を焼失し大きな損害を出しました。このことにより住民自ら無防備の非を深く反省し、防火消防団体の必要性を痛感し、当時の神田川東の魚屋業者が「酔狂連同盟社」という消防組を結成して活動を開始しました。これが富士宮市消防のはじまりとされております。

明治 9年 9月	神田川東の魚屋業者が消防組「酔狂連同盟社」を結成する。
明治13年	西町の魚屋業者が「魚屋連中非常隊」を結成する。
明治15年 3月	阿幸地・源道寺の住民が合同して「阿源組」を結成する。
明治15年 4月	西町「魚屋連中非常隊」が「神立組」に改称、組員31名。
明治15年10月	ドイツ製腕用ポンプを2台購入。
明治18年	東町「酔狂連同盟社」が「巴組」と改称。
明治27年 2月 9日	勅令第15号消防組規則をもって当時の消防組制度を変更する。「巴組」を「大宮町消防組第1部」「神立組」を同じく「第2部」に改称。
明治38年 3月	「阿源組」を「第3部」として編入、総員150名。
大正 3年	富士郡北部6ヶ町村が士気高揚と防火心の普及のため大演習を実施する。
大正 5年 1月13日	大宮町消防組に当時第一の名誉とされていた「金馬廉」一条を授与される。
大正 9年10月	大阪森田ポンプ会社から4千円を投じて、20馬力手挽ガソリンポンプ3台を購入し、大宮町消防組第1部・第2部・第3部に配置。
大正14年 6月25日	大宮町消防組を6部制とし、組頭以下246名。
大正15年 5月 1日	再度、金馬廉授与の栄誉を受ける。
昭和 3年 5月 5日	自動車ポンプ「チャンドラ号」100馬力を購入、第1部に配置。
昭和 7年 4月21日	大宮町が大火になり、常備消防の必要性を痛感し、夜間常備班を仲宿（中央町）に設置、編成は2部制とし、各部21名が交互に勤務する。
昭和 7年 6月20日	自動車ポンプ、フォード24馬力を購入、第2部に設置。
昭和11年 8月20日	本町第2部消防組詰所に常備消防員10名をおき、5名ずつ昼夜24時間交代の隔日勤務制となる。
昭和12年 4月 5日	防護団令が公布され、全国の市町村に防護団が新設される。
昭和14年 1月24日	勅令第20号をもって警防団令が発布される。
昭和14年 4月 1日	大宮町消防組を解散し、「大宮町警防団」を設置。その組織は本部及び11個分団、定員495名、翌15年505名に増員。
昭和15年11月	自動車ポンプ、シボレー100馬力を購入。
昭和17年 6月 1日	大宮町と富丘村が合併して市制を施行し「富士宮市警防団」となる。
昭和18年10月	富士急行（当時富士山麓バス会社）から乗用車フォード80馬力を購入、市原ポンプで、消防ポンプに艀装して運用開始。
昭和22年11月 1日	「富士宮市消防団」と改称。
昭和22年12月23日	消防組織法の公布により、自治体消防発足。
昭和25年11月 1日	富士宮市消防本部（署）の発足、署長以下23名。 水槽付消防車いすゞ80馬力を購入。
昭和30年 4月 1日	富士宮市と富士根村が合併。
昭和32年12月26日	可搬ポンプ積載消防車いすゞ130馬力を購入。
昭和33年 4月 1日	北山・上野・上井出・白糸の4ヶ村が富士宮市と合併、分団数36。
昭和34年 3月30日	災害現場連絡用として、消防用短波無線（基地局・移動局各1）を購入。
昭和34年 5月22日	日本損害保険協会から、普通消防車、ニッサン105馬力が寄贈され、のち水槽車に改造。
昭和35年 6月	消防団の分団を一部統合させ、22個分団、定員675名。
昭和37年 3月10日	大宮45の10に鉄筋コンクリート3階建て、総面積518㎡の消防庁舎を建設する。

昭和39年 8月	危険物火災に対処するため、化学消火装置2基、薬液200ℓ、その他小型消火器10基を購入。
昭和39年 9月	普通消防車ニッサン130馬力、中型車を購入。
昭和39年12月	消防本部に、庶務・消防・予防の3係の日勤5名をおく。
昭和42年 3月20日	富士宮市危険物安全協会から、ホンダ125ccの赤バイが寄贈された。
昭和42年11月 1日	救急業務を開始する。
昭和43年 2月 8日	救急第1号車、トヨタ125馬力を購入。
昭和43年 3月20日	光町16番5号に鉄筋コンクリート2階建て、総面積400㎡の消防庁舎、消防署西出張所を建設する。
昭和44年11月 7日	可搬動力ポンプ、ラビット30馬力を購入、第7号車に積載。
昭和44年11月24日	化学消防車（消火薬液300ℓ、水1,000ℓ積載）いすゞ145馬力を購入。
昭和45年 6月	消防団22個分団、定数655名。
昭和45年 6月17日	指揮連絡車、ジープJ30型車を購入。
昭和45年 7月 6日	富士宮市・富士市・御殿場市・裾野町の3市1町が「表富士周遊道路における消防相互応援に関する協定」を締結。
昭和45年 7月 6日	上野地区から救急車寄贈。救急第2号車として西出張所に配置。
昭和46年 7月29日	自動車ポンプいすゞ140馬力を購入、消防署西出張所に配置。
昭和46年 9月 1日	富士宮市・富士市、「消防相互応援協定」を締結。
昭和48年 2月14日	水槽付消防ポンプいすゞ140馬力を購入、消防署西出張所に配置。
昭和48年 4月 1日	富士宮市芝川町消防組合設立。条例定数を92名とした。
昭和49年 2月12日	芝川出張所開設に伴いトヨタ1,900cc2B型救急車購入。
昭和49年 2月27日	芝川出張所開設に伴い消防ポンプ自動車ニッサン3,950ccを購入。
昭和49年 3月20日	署指令室増築、建面積 67.74㎡ 延面積 135.48㎡ 消防・救急指令装置完成、一斉指令庁内電話及び専用電話（119番）の集中管理開始。
昭和49年 4月30日	連絡車トヨタランドクルーザー3,870cc購入。
昭和49年 5月 1日	富士宮市芝川町消防組合消防署芝川出張所開設。
昭和49年 7月 1日	富士宮市芝川町消防組合消防本部に管理課・予防課を設置。
昭和50年 3月31日	救急車トヨタ1,990cc2B型購入、西出張所に配置。
昭和51年 3月 8日	署・車庫（梯子車用）増築97.5㎡ 梯子車35メートル級本署に配置。
昭和52年 3月 1日	救助訓練塔建設。
昭和52年 3月 4日	富士宮市芝川町消防組合消防本部・富士宮市消防団は、消防庁長官から竿頭綬を授与された。
昭和52年 3月31日	救急車トヨタ1,990cc2B型購入、本署に配置。
昭和52年 3月31日	赤バイ・スズキ125cc3台 後藤誠氏寄贈、本署および2出張所に配置。
昭和52年 4月 1日	通信指令室が通信統制室に改称。
昭和52年12月21日	予防連絡車、三菱ジープJ36型購入。
昭和53年 3月13日	水槽付消防ポンプ自動車（FK115F型）日本損害保険協会寄贈、本署に配置。
昭和53年 4月 1日	条例定数を107名とした。
昭和53年 6月 1日	同報無線遠隔制御機を通信統制室に設置。
昭和53年 8月 3日	広報車三菱ギャラン 東京海上火災寄贈、消防本部に設置。
昭和53年10月27日	富士宮市芝川町消防組合消防署北出張所開設。 救急車トヨタ1,960cc2B型 富士宮市芝川町消防組合消防署北出張所建設委員会寄贈、北出張所に配置。
昭和54年 3月28日	通信統制室に地図自動検索装置設置。
昭和55年 1月 9日	消防本部車庫（公用車用）新築、建築面積57.5㎡
昭和55年 2月28日	消防ポンプ自動車いすゞCD-I型購入、本署に配置。
昭和55年 3月14日	指令車ニッサンワゴン購入。

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体

昭和55年	4月	1日	条例定数を115名とした。	
昭和55年	4月	1日	消防団22個分団、定数650名。	
昭和55年	8月	27日	連絡車トヨタコロナ 富士宮市芝川町危険物安全協会寄贈、消防本部に配置。	
昭和55年	9月	1日	消防本部の住所が町名整備によって、富士宮市田中町540番地に変更。	
昭和55年	12月	6日	化学消防ポンプ自動車1型日野FD171購入、本署に配置。	
昭和56年	3月	26日	連絡車ダイハツハイゼットバン 携帯局1基 滝川公夫氏寄贈、消防本部に配置。	
昭和56年	4月	1日	通信統制室を廃室し、警防課を設置。	
昭和56年	4月	1日	条例定数を130名とした。	
昭和57年	2月	9日	消防本部事務室増築、34.402㎡	
昭和57年	4月	22日	救急車ニッサンキャラバン1, 980cc2B型購入、西出張所に配置。	
昭和58年	12月	13日	救助工作車日野FD172購入、本署に配置。	
昭和59年	1月	12日	救急車ニッサンキャラバン2B型 芝川町から贈与、芝川出張所に配置。	
昭和59年	3月	15日	消防署、望楼解体。	
昭和59年	3月	29日	救急車トヨタハイエース2B型購入、本署に配置。	
昭和59年	11月	20日	消防用気象観測装置を設置。	
昭和59年	12月	12日	水槽付消防ポンプ自動車いすゞ購入、西出張所に配置。	
昭和60年	3月	22日	消防ポンプ自動車いすゞCD-I型 芝川町から贈与、芝川出張所に配置。	
昭和60年	6月	29日	トラック三菱キャンター購入、消防本部に配置。	
昭和60年	11月	26日	防火広報車ニッサンキャラバン、日本防火協会寄贈、消防本部に配置。	
昭和61年	2月	7日	救急車ニッサンキャラバン2B型、日本自動車工業会寄贈。北出張所に配置。	
昭和61年	2月	27日	連絡車三菱軽四3台購入、各出張所に配置。	
昭和61年	3月	8日	複信用無線機(救急波)設置、基地局1基、移動局4基。	
昭和62年	2月	26日	梯子車の分解整備を実施。	
昭和62年	3月	30日	赤バイ・スズキ400cc 2台購入、西出張所、芝川出張所に配置。	
昭和62年	3月	31日	広報車三菱パジェロ購入、消防本部に配置。	
昭和62年	4月	1日	静岡県消防相互応援協定を締結。条例定数を138名とした。	
昭和62年	8月	18日	指令車トヨタクラウン購入、消防本部に配置。	
昭和62年	9月	7日	火災発生時の電話照会に対するため、テレホンサービス(5回線)を導入。	
			昭和63年9月1日、日本損害保険協会から、水槽付消防ポンプ自動車(P-FK417F)が寄贈され、本署に配置。	
平成	元年	2月	23日	連絡車トヨタカローラ購入、消防本部に配置。
平成	元年	12月	18日	救急車トヨタ2B型購入、西出張所に配置。
平成	2年	3月	8日	富士宮市芝川町消防組合消防本部・富士宮市消防団は、消防庁長官から表彰旗を授与された。
平成	2年	8月	24日	連絡車スバルを購入、本署に配置。
平成	3年	2月	20日	水槽付消防ポンプ自動車いすゞFRR32購入、北出張所に配置。
平成	3年	3月	28日	芝川出張所(延462.85㎡)が芝川町長貫756-1に移転。
平成	3年	4月	1日	広報車トヨタスターレット 遠藤好子氏寄贈、消防本部に配置。
平成	3年	11月	1日	消防本部、市役所新庁舎に移転、業務開始。
平成	4年	3月	25日	警防課指令係 消防緊急通信指令施設完成、業務開始。
平成	5年	2月	16日	救急3号車、ニッサン2B型購入、芝川出張所に配置。
平成	5年	2月	20日	大型水槽車、10,000ℓいすゞ93購入、消防署に配置。
平成	5年	4月	1日	定数条例を160名とした。
			当直司令を廃止し副署長に、当直主任を廃止し係長とする。	
			主査制度を開始。完全週休二日制を開始。	
			高度救急処置用資器材(9項目)一式を購入。(消防署救急車に積載)	
			大型救助用器具一式を購入。	
平成	5年	10月	24日	消防組合発足20周年記念フェスティバルを開催。

平成 7年	3月16日	消防署西出張所を光町16番5号から宮原1番地の22へ移転、消防業務開始。(鉄筋コンクリート2階建て 延面積577.2㎡)
平成 7年	3月10日	高度救急処置用資器材(9項目)一式を購入。(西出張所及び芝川出張所救急車に積載)
平成 7年	4月 1日	主幹制度を開始。
平成 8年	1月23日	消防ポンプ自動車いすゞ(CD-II)購入。〔更新〕 西出張所に配置。「大型救助用器具積載車」
平成 8年	1月31日	高規格救急車(トヨタ)を購入。消防署に配置。
平成 8年	12月20日	地震対策救助資器材(大型救助用器具)一式購入。
平成 9年	3月 6日	化学消防ポンプ自動車I型購入。〔更新〕
平成 9年	4月 1日	組織機構改革により二署制を導入し、従来の消防署本署を中央消防署とし、西出張所を西消防署とした。また、出張所の名称を分署に改めた。
平成 9年	4月 1日	富士宮市芝川町消防組合中央消防署東分署開設。 分署長以下13名。水槽付消防ポンプ自動車・救急車ニッサン2B型(財団法人日本消防協会から寄贈)・連絡車を配置。
平成 9年	12月10日	救急車(2B型)を購入(更新)西消防署に配置。
平成 9年	12月11日	水槽付消防ポンプ自動車(I-B型)を購入(更新)西消防署に配置。
平成10年	2月27日	消防ポンプ自動車(CD-I型)を購入(更新)中央消防署芝川分署に配置。
平成11年	10月20日	地震対策用50ccバイク7台を各署々に配置。
平成11年	12月22日	高規格救急車(ニッサン)を購入(更新)西消防署に配置。
平成12年	4月 1日	組織機構改革により警防課指令係を警防課情報指令室と改めた。
平成12年	6月20日	中央消防署を田中町540番地から源道寺町5番地の1へ移転。 (鉄筋コンクリート3階建て延面積1,606.78㎡)
平成12年	7月10日	山岳救助隊を発足(隊員7名)。
平成13年	3月19日	救助工作車(II型)を購入(更新)中央消防署に配置。
平成14年	7月12日	指揮車(ニッサン・ADバン)を購入、西消防署に配置。
平成15年	1月30日	高規格救急車(ニッサン)を購入(更新)中央消防署芝川分署に配置。
平成15年	4月 1日	条例定数を161名とした。
平成16年	3月 8日	連絡車スバルS4WD購入、北分署に配置。
平成16年	3月31日	日本消防協会から指揮車が寄贈され消防本部に配置。
平成16年	3月31日	西消防署上野分署落成式。
平成16年	4月 1日	条例定数を163名とした。
平成16年	4月 1日	富士宮市芝川町消防組合西消防署上野分署開設。 分署長以下13名。水槽付消防ポンプ自動車・救急車トヨタ2B型・連絡車を配置。
平成17年	1月 7日	梯子車(30m級)を購入(更新)中央消防署に配置。
平成17年	1月14日	救急車(2B型)を購入(更新)中央消防署東分署に配置。
平成17年	12月22日	高規格救急車を購入(更新)中央消防署に配置。
平成18年	12月25日	指揮車を購入(更新)中央消防署に配置。
平成19年	4月 1日	条例定数を167名とした。
平成20年	2月18日	北分署水槽付消防ポンプ自動車(I-B型)を更新。
平成20年	8月22日	査察車を購入(更新)、消防本部に配置。
平成21年	11月18日	高規格救急車を購入(更新)西消防署に配置。
平成22年	2月 5日	J A 共済静岡県本部から高規格救急車2台が寄贈され西消防署及び北分署に配置。
平成22年	3月22日	富士宮市芝川町消防組合を解散。
平成22年	3月23日	富士宮市と芝川町の合併により富士宮市消防本部とした。
平成22年	3月23日	条例定数を163名とした。
平成22年	3月23日	富士宮市と芝川町の合併により富士宮市消防団は28個分団、定員810名。
平成23年	3月11日	東日本大震災に緊急消防援助隊静岡県隊として救急部隊・後方支援部隊、計24名を派遣。

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体

平成23年	3月16日	大型水槽車(Ⅱ型)を購入(更新)、西消防署に配置。
平成23年	12月1日	資機材搬送車を購入、中央消防署に配置。
平成24年	2月2日	指令車を購入(更新)、消防本部に配置。
平成24年	3月8日	広報車を購入(更新)、消防本部に配置。
平成24年	4月1日	消防本部管理課を消防本部消防総務課と課名変更した。
平成24年	4月6日	富士宮市防火安全協会から寄贈。消防本部に査察車を配置。
平成24年	7月13日	富士市及び富士宮市消防救急広域化協議会設立。
平成25年	3月26日	水槽付消防ポンプ自動車(I-B型)を購入(更新)、中央消防署に配置。
平成25年	4月1日	条例定数を168名とした。
平成26年	1月28日	高規格救急車を購入(更新)中央消防署に配置。
平成26年	3月14日	西消防署仮眠室及び女性対応施設増築。
平成26年	4月1日	富士市・富士宮市消防通信指令事務協議会設立。
平成27年	2月18日	水槽付消防ポンプ自動車(I-B型)を購入(更新)、西消防署に配置。
平成27年	2月20日	水槽付消防ポンプ自動車(CD-I型)を購入(更新)、中央消防署芝川分署に配置。
平成27年	4月1日	条例定数を175名とした。
平成27年	9月8日	情報指令室を弓沢町150から富士市・富士宮市消防指令センター(富士市永田町1丁目100 富士市消防防災庁舎5階)へ移転、回線切り替え及び無線のデジタル化移行。(平成27年9月10日運用開始)
平成28年	1月20日	高規格救急車を購入(更新)、中央消防署芝川分署に配置。
平成28年	2月17日	水槽付消防ポンプ自動車(I-B型)を購入(更新)、中央消防署東分署に配置。
平成28年	3月24日	西消防署北分署を上井出890番地の1から上井出2256番地へ移転、訓練塔及び臨時ヘリポート設置。 (鉄筋コンクリート2階建て 延面積650.47㎡)
平成29年	2月27日	救助工作車Ⅲ型を購入(増強)、中央消防署に配置。
平成29年	3月21日	指揮車を購入(更新)、中央消防署に配置。
平成30年	2月8日	団指揮広報車を購入(更新)、消防本部に配置。
平成30年	3月16日	水槽付消防ポンプ自動車(CD-I型)を購入(更新)、西消防署上野分署に配置。
平成30年	3月26日	高規格救急車を購入(更新)、西消防署に配置。
平成31年	2月19日	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型を購入(更新)、西消防署に配置。
平成31年	2月25日	一般社団法人日本損害保険協会から高規格救急車が寄贈され、西消防署上野分署に配置。
平成31年	3月22日	高規格救急車を購入(更新)、中央消防署東分署に配置。
令和3年	3月1日	指揮車を購入(更新)、消防本部に配置。
令和3年	7月3日	熱海市伊豆山で発生した土石流災害に静岡県消防相互応援協定に基づき、延べ208人(消火小隊145人・後方支援隊63人)の隊員を派遣する。
令和4年	2月24日	高規格救急車を購入(更新)、西消防署北分署に配置。
令和5年	3月17日	高規格救急車を購入(更新)、中央消防署に配置。

主 な 災 害 歴

明治 8年 8月	初音町（元城町）から出火し、神田町（大宮町）・仲宿（中央町）・連尺（東町）・青柳（東町）・伝馬町（東町）の330戸を焼失。
明治 8年 9月11日	新立町（西町）から出火し、250戸を焼失。
明治 9年11月	山道（元城町）から出火し、12戸を焼失。
明治13年 1月	神田町（大宮町）から出火し、12戸を焼失。
明治14年11月	西新町（宮町）から出火し、西町地区の大半を焼失。
大正 9年 1月23日	初音町（元城町）から出火し、196戸を焼失。
昭和 5年 2月10日	野中（現第9分団詰所付近）から出火し、50戸を焼失。なお、強風により星山部落に飛火して1戸を焼失。
昭和 7年 4月21日	「大宮町の大火」 栄町（大宮町）から出火し、神田川以東の1,102戸全焼、罹災者4,914名、死傷者4名、負傷者98名。
昭和 9年10月27日	貴船町から出火し、38戸延べ3,712㎡を焼失。
昭和26年 4月25日	淀師中村から出火し、12戸を焼失。
昭和30年 2月23日	阿幸地地先から出火し、8戸延べ1,307㎡を焼失。
昭和31年 2月22日	錦町の市立富士宮病院から出火し、延べ1,518㎡を焼失。
昭和40年 1月15日	松山町（西町）から出火し、8戸延べ1,114㎡を焼失。
昭和41年 9月25日	台風26号によって瞬間最大風速50mを記録し重軽傷者41名、住家全壊66戸、半壊2000戸の被害を受けた。
昭和47年 7月12日	梅雨前線の影響から集中豪雨が襲い、堤防決壊17ヶ所、橋梁流出11ヶ所、床下浸水363戸等の被害を受け、上井出地先の老人ホームに老人33名が取り残された。
昭和51年 9月 8日	台風17号によって河川等決壊21箇所、井之頭中学校、民家等の床上浸水30戸の被害を受けた。
昭和53年 1月 5日	貴船町から出火し、8戸延べ745㎡を焼失。
昭和53年 7月16日	富士宮市立富士宮第一中学校校舎等5棟2,490㎡を焼失。
昭和55年12月 4日	大中里地先から出火し、8戸延べ706㎡を焼失。
平成 3年 6月15日	国道139号線バイパスで大型トレーラーが暴走。車両7台が焼失、死者8名。
平成 8年 3月 6日	元城町地先から出火し、11戸延べ504㎡を焼失。
平成15年 3月 9日	大中里地先から出火し、9戸延べ279㎡を焼失。
平成15年 6月23日	大中里地先で不法に保管されていた産業廃棄物入りのドラム缶、約600本から硫酸ピッチ2,000ℓが漏洩、高濃度の亜硫酸ガスが発生した。
平成16年 7月30日	淀師、淀平町、大宮町地内で連続して不審火火災が5件発生。（淀平町、大宮町の火災は放火犯が逮捕された。）
平成21年 8月11日	駿河湾を震源とするM6.5の地震が発生し、市内で震度5強を観測した。
平成23年 3月15日	静岡県東部を震源とするM6.4の地震が発生し、市内で震度6強を観測し、軽症17名、一部損壊549棟。
平成27年 4月17日	国道52号線で危険物1万8千リットルを積載したタンクローリーが転覆。車両に積載していた灯油が漏れだし、境川に流出した。

概
要

総
務

火
災

予
防

警
防

通
信・
指
令

救
助

救
急

応
援
協
定

消
防
団

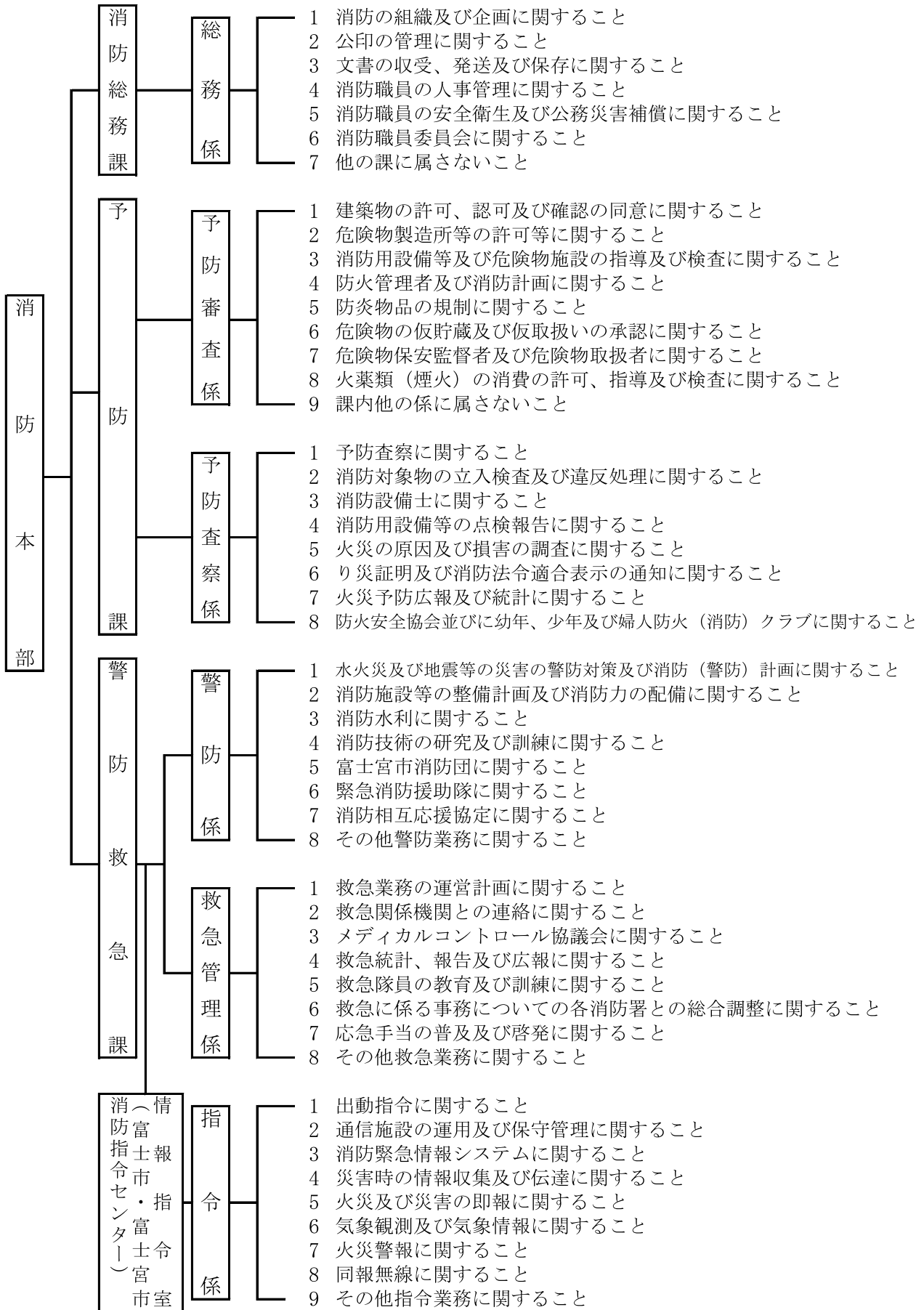
防
火
協
力
団
体

総務

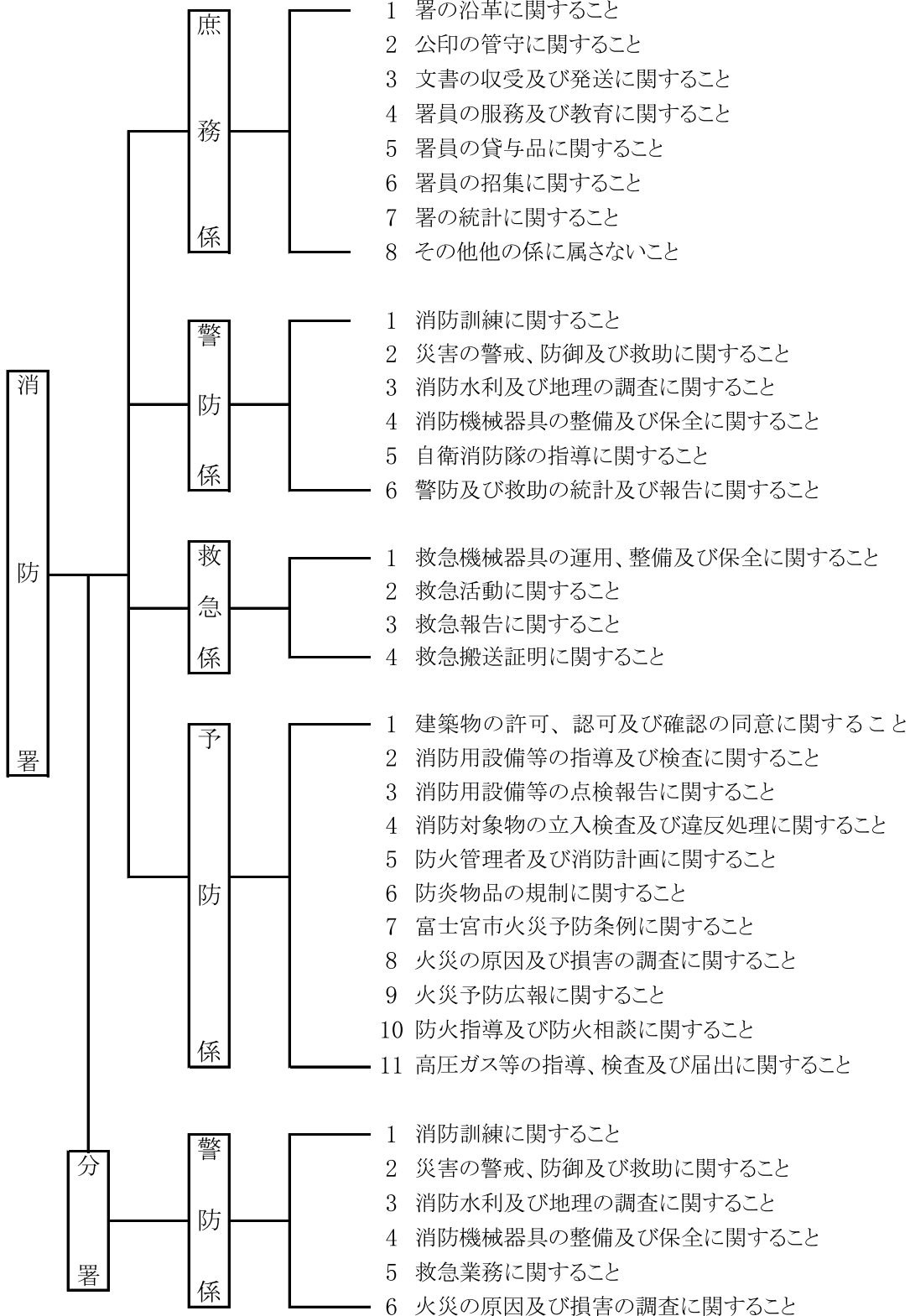


消防総務課執務室

消防本部事務分掌



消防署事務分掌



概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

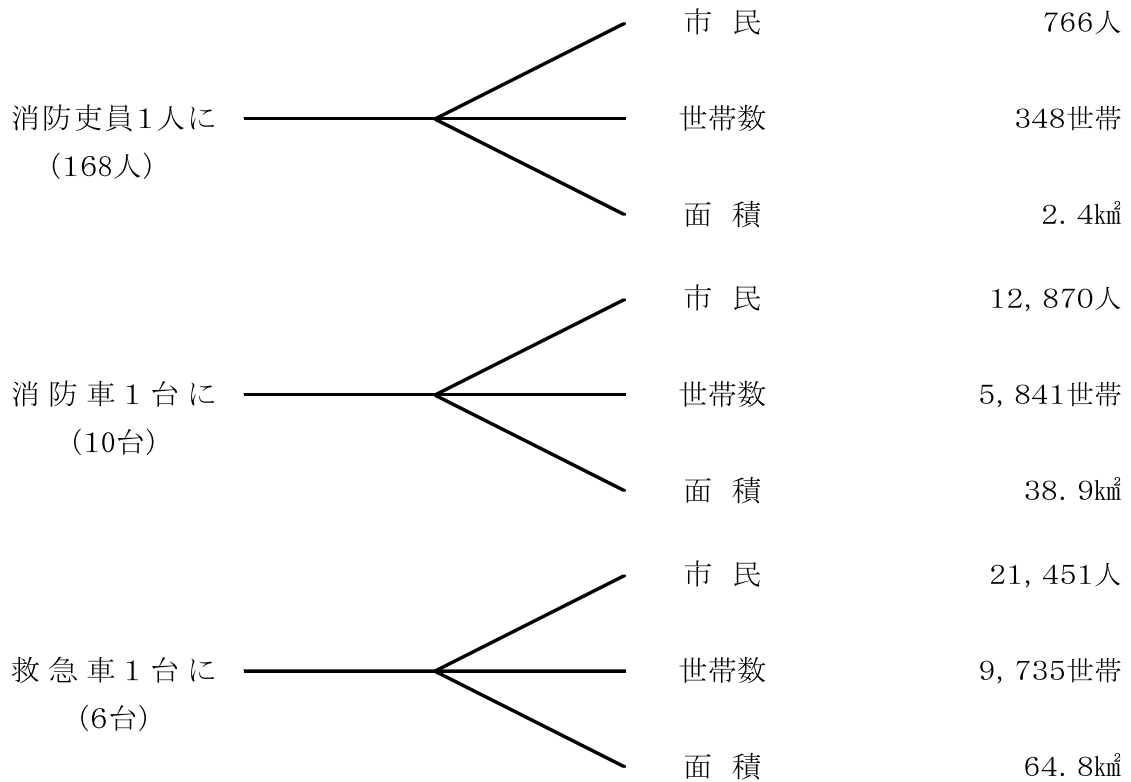
応援協定

消防団

防火協力団体

住民と常備消防力

令和5年4月1日現在



歴代消防長

代	氏名	在任期間	備考	代	氏名	在任期間	備考
初代 ～ 2代	小室 鶴松	自 S25.11.1 至 S30.3.31	市長兼務	16代	八橋 俊顕	自 H3.4.1 至 H8.3.31	
3代	上杉増太郎	自 S30.5.1 至 S33.11.14	市長兼務	17代	四條 洋成	自 H8.4.1 至 H16.3.31	
4代	渡辺 定信	自 S33.12.21 至 S35.2.6	市長兼務	18代	齋藤 吉董	自 H16.4.1 至 H19.3.31	
5代	道岡 三郎	自 S35.2.7 至 S35.11.1	助役兼務	19代	渡邊 喜哉	自 H19.4.1 至 H20.3.31	
6代 ～ 8代	山川 斌	自 S35.11.2 至 S47.3.19	市長兼務	20代	佐野 裕克	自 H20.4.1 至 H22.3.31	
9代	植松 義忠	自 S47.3.20 至 S48.3.31	市長兼務	21代	渡辺 栄	自 H22.4.1 至 H23.3.31	
10代	深沢 文男	自 S48.4.1 至 S48.6.30	助役兼務	22代	小倉 辰彦	自 H23.4.1 至 H25.3.31	
11代	山本 晃	自 S48.7.1 至 S50.3.31		23代	佐野 則男	自 H25.4.1 至 H27.3.31	
12代	佐野 三郎	自 S50.4.1 至 S53.3.31		24代	望月 正三	自 H27.4.1 至 H30.3.31	
13代	石川 嘉浩	自 S53.4.1 至 S59.3.31		25代	蛭川 公雄	自 H30.4.1 至 R3.3.31	
14代	佐野 久	自 S59.4.1 至 S61.3.31		26代	吉田 昌弘	自 R3.4.1 至 R4.3.31	
15代	佐野 和彦	自 S61.4.1 至 H3.3.31		27代	鈴木 英之	自 R4.4.1 至 現在	

消防職員の階級別構成

令和5年4月1日現在

階級		合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	
											所属
職員合計		169	1	6	35	31	34	46	15	1	
消防長		1	1								
消防次長		1		1							
消防本部	消防総務課	課長	1	1							
		総務係	4		1	1	2				
		課付・研修	5				2		3		
	予防課	課長	(1)		(1)						
		予防審査係	4		1	1	1			1	
		予防査察係	6		1	1	2	2			
	警防救急課	課長	1		1						
		参事	0								
		警防係	7		1	2	3	1			
		救急管理係	3		1		2				
	七富士消防・指令センター	副センター長	1		1						
		指令係	7			2	2	1	2		
	計		41	1	4	7	7	13	5	3	1
	中央消防署	中央消防署	39		1	9	7	6	12	4	
芝川分署		13			3	2	3	5			
東分署		13			3	2	3	4	1		
計		65		1	15	11	12	21	5		
西消防署	西消防署	29		1	7	6	3	7	5		
	北分署	21			3	5	4	7	2		
	上野分署	13			3	2	2	6			
	計	63		1	13	13	9	20	7		

()は兼務

階級別年齢

令和5年4月1日現在

平均年齢 年齢	人数	消防監	司令長	司令	司令補	消防士長	副士長	消防士	その他
	37.2	59.0	55.8	48.5	43.1	30.1	28.1	21.8	36.0
18	1							1	
19	2							2	
20	2							2	
21	1							1	
22	2							2	
23	2							2	
24	11						7	4	
25	5						4	1	
26	9						9		
27	4						4		
28	4						4		
29	8						8		
30	2						2		
31	4					1	3		
32	11					8	3		
33	8					7	1		
34	3					3			
35	3					3			
36	5				2	2			1
37	5				3	2			
38	6				3	3			
39	3				2	1			
40	3				3				
41	3			2	1				
42	6			3	3				
43	2			1	1				
44	0								
45	3			2	1				
46	2				2				
47	9			5	4				
48	5			4	1				
49	7			7					
50	3			2	1				
51	2			1	1				
52	4			2	2				
53	2		1	1					
54	3		1	2					
55	1		1						
56	2			1	1				
57	3		2	1					
58	1			1					
59	2	1	1						
60	4 (4)					3 (3)	1 (1)		
61	1 (1)					1 (1)			
合計	169 (5)	1	6	35	31	34 (4)	46 (1)	15	1

()は再任用職員数

階級別勤続年数

令和5年4月1日現在

平均年数 勤続年数	人数	消防監	司令長	司令	司令補	消防士長	副士長	消防士	その他
	16.1	37.0	35.6	27.8	21.8	12.5	7.1	1.7	14.0
1年未満	5							5	
1	3							3	
2	5						3	2	
3	5						2	3	
4	4						4		
5	5						3	2	
6	3						3		
7	6						6		
8	9						9		
9	9					3	6		
10	4					1	3		
11	5					3	2		
12	9					5	4		
13	7					7			
14	8				2	5			1
15	5				1	4			
16	4				3	1			
17	5				5				
18	4				3	1			
19	3			2	1				
20	6			3	3				
21	1			1					
22	3			2	1				
23	0								
24	4			3	1				
25	0								
26	1				1				
27	5			3	2				
28	0								
29	15			10	5				
30	3			2	1				
31	2			2					
32	2			1	1				
33	2		1	1					
34	3		1	1	1				
35	2		1	1					
36	3		1	2					
37	2	1	1						
38	1 (1)					1 (1)			
39	2		1	1					
40	1 (1)					1 (1)			
41	1 (1)					1 (1)			
42	1 (1)						1 (1)		
43	1 (1)					1 (1)			
合計	169 (5)	1	6	35	31	34 (4)	46 (1)	15	1

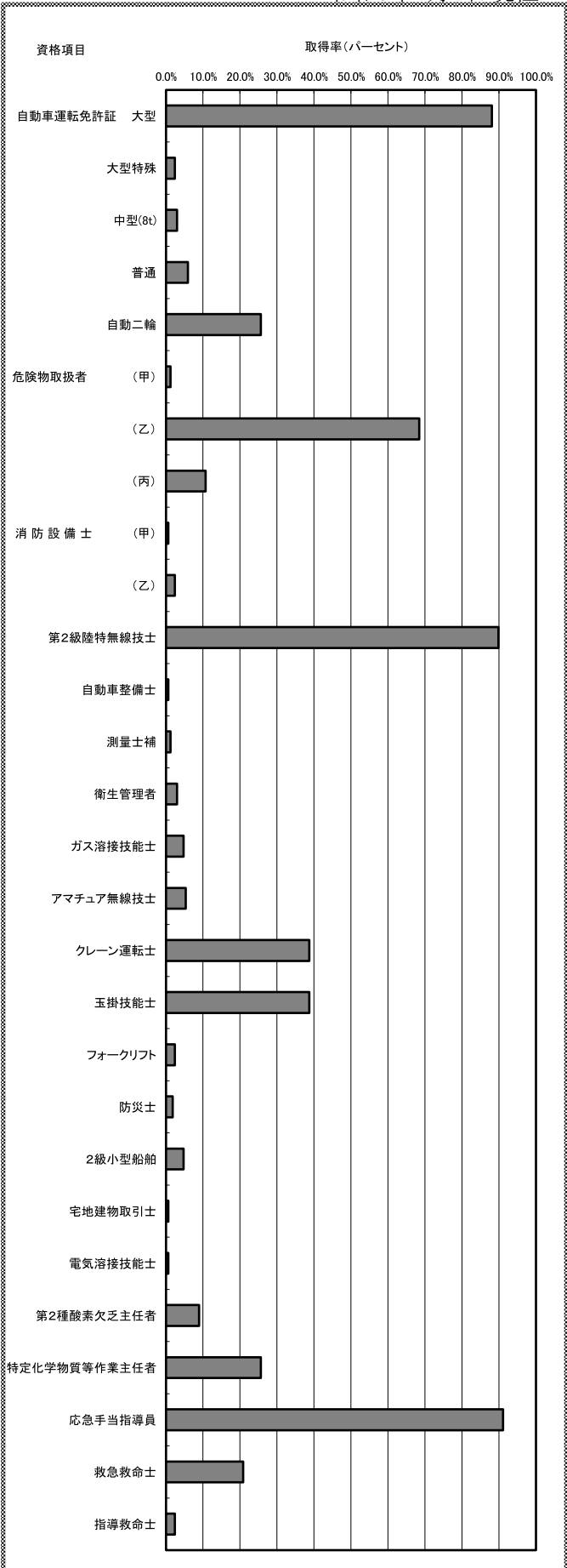
() は再任用職員数

消防吏員各種免許取得状況

消防吏員数 168 名

令和5年4月1日現在

資格	取得数・率	取得数	取得率
自動車運転免許証	大型	148	88.1%
	大型特殊	4	2.4%
	中型(8t)	5	3.0%
	普通	10	6.0%
	自動二輪	43	25.6%
危険物取扱者	(甲)	2	1.2%
	(乙)	115	68.5%
	(丙)	18	10.7%
消防設備士	(甲)	1	0.6%
	(乙)	4	2.4%
第2級陸特無線技士		151	89.9%
自動車整備士		1	0.6%
測量士補		2	1.2%
衛生管理者		5	3.0%
ガス溶接技能士		8	4.8%
アマチュア無線技士		9	5.4%
クレーン運転士		65	38.7%
玉掛技能士		65	38.7%
フォークリフト		4	2.4%
防災士		3	1.8%
2級小型船舶		8	4.8%
宅地建物取引士		1	0.6%
電気溶接技能士		1	0.6%
第2種酸素欠乏主任者		15	8.9%
特定化学物質等作業主任者		43	25.6%
応急手当指導員		153	91.1%
救急救命士		35	20.8%
指導救命士		4	2.4%



職 員 研 修 状 況

静岡県消防学校

令和5年3月31日現在

科目別	年度別										合計
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
初任科	5	10	10	6	3	5	4	5	5	3	56
水難救助科							2				2
救助科	1	1		2	2	2	1	2	2	2	15
予防査察科	1	1									2
警防科	1	1		2	2	2	2	2	2	2	16
火災調査科		2		3	3	2	2	2	2	2	18
危険物科		1									1
予防査察・危険物科				2	2	2	2	2	2	2	14
救急科	6	6	16	7	7	4	4	3	4	3	60
上級幹部科	1			1	1	1	1	1	1	1	8
中級幹部科	1	1		1	1	1	1	1	1	1	9
初級幹部科						1	1	1	1	1	5
ヒ・テ・オ喉頭鏡講習	2	4	4	4	4	2					20
処置拡大追加講習			4	3	3	3	2				15

※平成28年度から予防査察科及び危険物科が予防査察・危険物科に統合

消防大学校及び救急救命研修所

令和5年3月31日現在

科目別	年度別										合計
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
幹部科				1	1	1					3
警防科											0
救助科									1		1
予防科		1	1	1						1	4
火災調査科					1		1				2
女性活躍推進コース						1					1
救急救命士養成課程	2	2	2	1	2	2	2	1			14
指導救命士					2		2				4

受託研修等

令和5年3月31日現在

科目別	年度別										合計
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
埼玉県南西部消防本部					1	1	1				3
東京消防庁				1							1
山岳遭難救助研修		1	1				1			1	4
緊急自動車安全運転研修				2	1	1	1				5

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

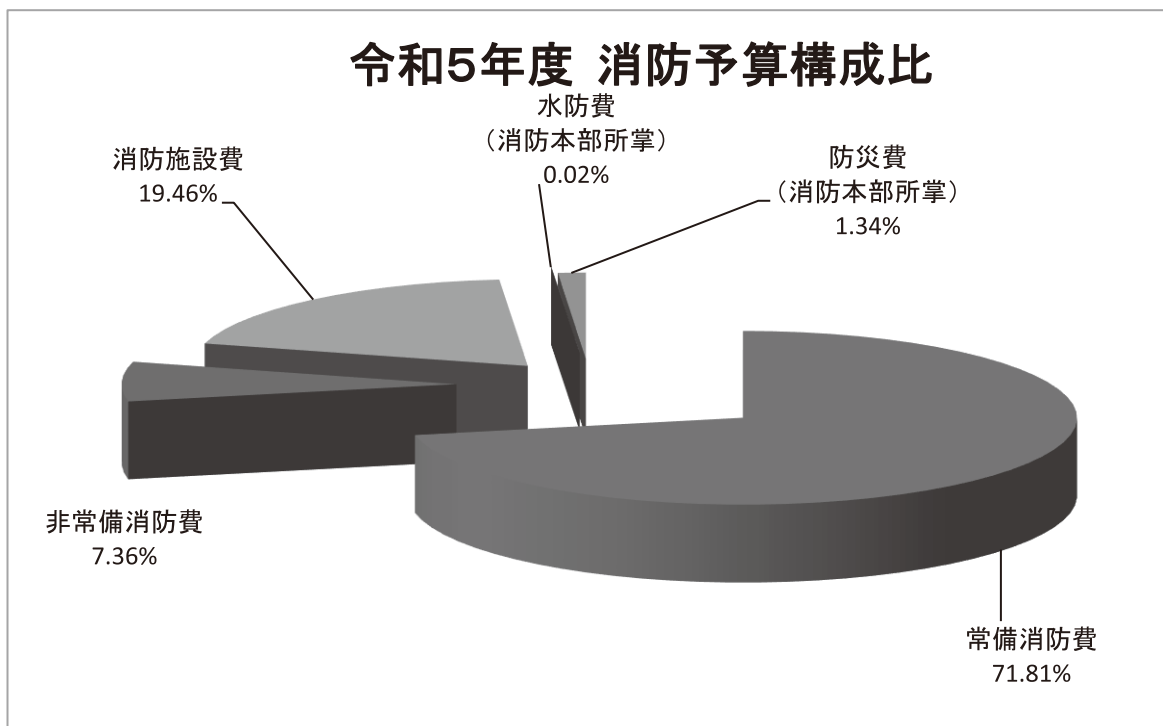
消防団

防火協力団体

年度別消防予算（当初）

単位 千円

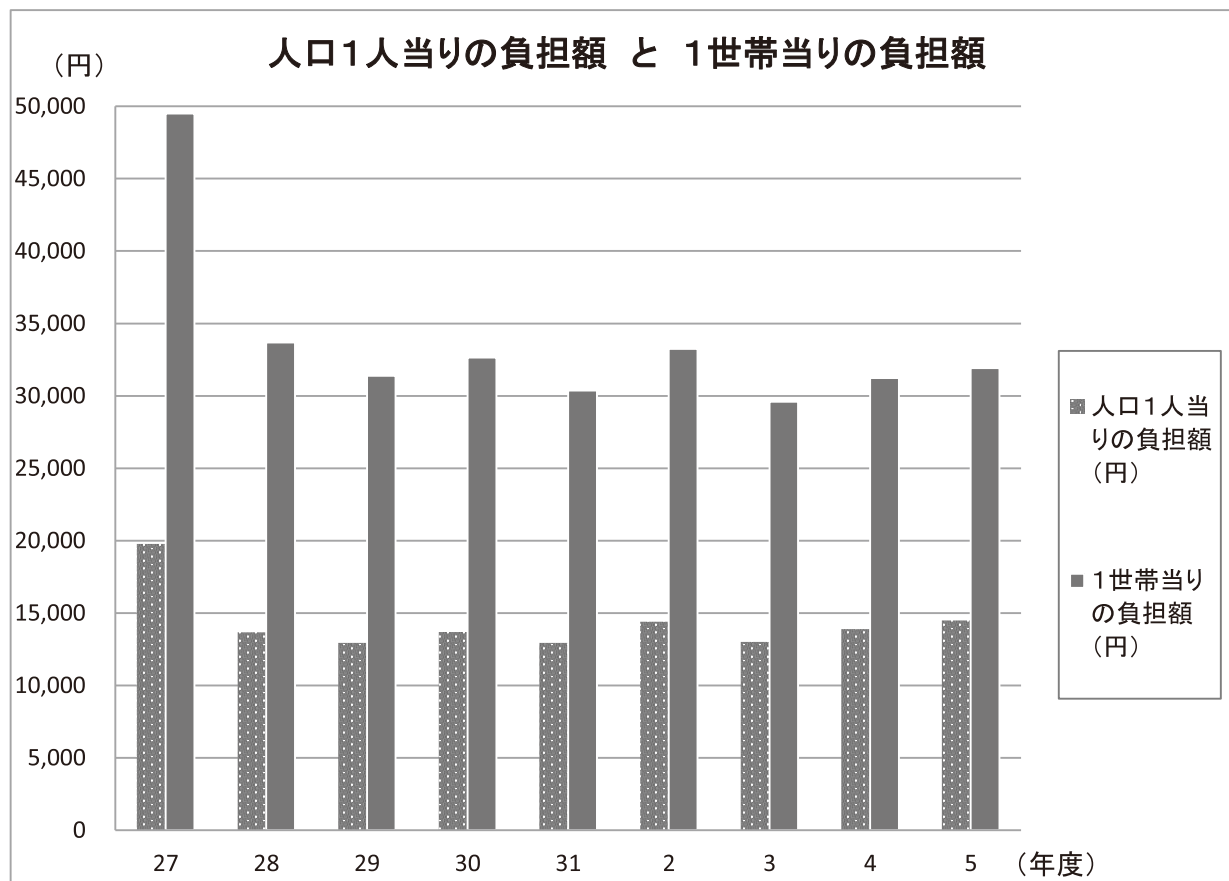
	令和5年度	令和4年度	比較
市一般会計予算	48,530,000	47,310,000	1,220,000
消防予算	1,863,903	1,801,760	62,143
割合（%）	3.84%	3.81%	
目	令和5年度	令和4年度	比較
常備消防費	1,338,521	1,328,693	9,828
非常備消防費	137,239	144,610	△ 7,371
消防施設費	362,761	293,323	69,438
水防費 （消防本部所掌）	407	434	△ 27
防災費 （消防本部所掌）	24,975	34,700	△ 9,725



人口と当初予算の推移

各年度4月1日時点の人口及び世帯数

年度	人口 (人)	世帯数 (世帯数)	消防予算(当初)		
			(千円)	人口1人当りの負担額 (円)	1世帯当りの負担額 (円)
27	134,866	53,852	2,665,668	19,765	49,500
28	134,274	54,450	1,833,860	13,658	33,680
29	133,989	55,214	1,733,404	12,937	31,394
30	133,290	55,877	1,823,609	13,682	32,636
31	132,651	56,506	1,716,158	12,937	30,371
2	131,853	57,083	1,897,188	14,389	33,236
3	130,811	57,466	1,700,400	12,999	29,590
4	129,654	57,676	1,801,760	13,897	31,239
5	128,706	58,410	1,863,903	14,482	31,911



火 災



令和4年度防火ポスターコンクール
中学生の部 金賞
富士宮市立芝川中学校
2年 清 美智花 さん

火災の概況

令和4年中（1月～12月）の火災概況は、火災件数37件、建物焼損床面積1,544㎡、損害額64,852千円となり、死者1人、負傷者0人でした。

1 火災発生状況

令和4年中の火災件数は37件で、昨年と比較して18件減少しています。これは10日に1件の割合で火災が発生したことになります。

2 建物火災は全火災の46%

火災種別ごとの発生件数は、「建物火災」が17件（46%）で毎年高い比率を占めています。その他は「その他の火災」15件（40.5%）、「車両火災」4件（10.8%）、「林野火災」1件（2.7%）となっています。

3 建物火災のうち住宅が5件（29.4%）

建物火災の出火件数を用途別にみると、住宅が5件（29.4%）を占めています。

建物火災17件中の出火箇所の構成比は、工場・作業場5件（29.4%）、住宅の居室3件（17.6%）、住宅その他3件（17.6%）、倉庫・物置3件（17.6%）、共同住宅2件（11.8%）、店舗・事務所等1件（5.9%）となっています。

4 月別火災発生件数

月別火災発生件数は、12月が6件で最多となっており、以下各月ごと月別火災概要のとおりとなっています。

5 建物火災の通報は、「携帯電話」からの通報が多く、初期消火は「水道等の水をかけた」が多い状況

火災の覚知状況をみると、建物火災では、携帯電話からの通報が9件（52.9%）、固定電話からの通報が6件（35.3%）、事後聞知が2件（11.8%）でした。

また、建物火災時における初期消火状況は、「水道等の水をかけた」8件（47.1%）、「初期消火なし」4件（23.5%）、「消火器」4件（23.5%）、「水バケツ」1件（5.9%）となっています。

6 出火原因

主な出火原因は、「たき火」が7件、「電灯・電話等の配線」が6件、「排気管」が3件、「配線器具」が2件です。

7 建物焼損面積

建物焼損床面積は1,544㎡、焼損表面積は74㎡で、計26棟を焼損しました。

8 損害額

火災による損害額は、64,852千円で、前年の109,134千円より約40.6%減少しました。建物火災の損害額は59,922千円で、全体の損害額の92.4%を占めています。

概
要

総
務

火
災

予
防

警
防

通
信・
指
令

救
助

救
急

応
援
協
定

消
防
団

防
火
協
力
団
体

火災の概要

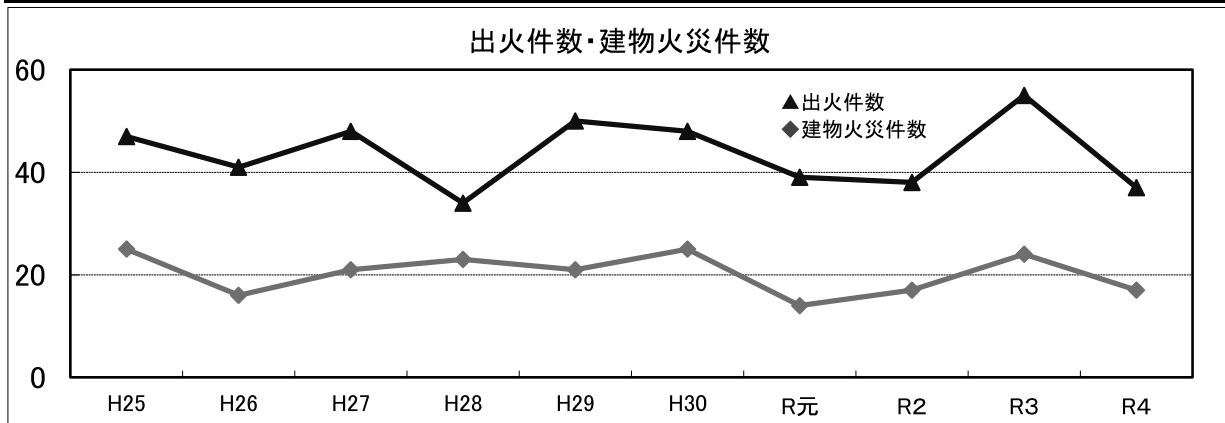
区 分	単位	(A)令和4年 (1月～12月)	(B)令和3年 (1月～12月)	(C)比較 (A)－(B)	増減率 C/B×100 (%)	
出 火 件 数	件	37	55	-18	-32.7	
種 別	建 物 火 災	17	24	-7	-29.2	
	林 野 火 災	1	5	-4	-80.0	
	車 両 火 災	4	6	-2	-33.3	
	船 舶 火 災	0	0	0	-	
	航 空 機 火 災	0	0	0	-	
	そ の 他 の 火 災	15	20	-5	-25.0	
焼 損 棟 数	棟	26	36	-10	-27.8	
焼 損 程 度	全 焼	8	7	1	14.3	
	半 焼	2	3	-1	-33.3	
	部 分 焼	6	8	-2	-25.0	
	ぼ や	10	18	-8	-44.4	
建 物 焼 損 面 積	床 面 積	m ²	1,544	1,282	262	20.4
	表 面 積	m ²	74	22	52	240.3
林 野 焼 損 面 積	a	113	17	95	560.2	
死 者	人	1	0	1	-	
負 傷 者	人	0	5	-5	-100.0	
り 災 世 帯 数	世帯	9	13	-4	-30.8	
種 別	全 損	3	0	3	-	
	半 損	0	0	0	-	
	小 損	6	13	-7	-53.8	
り 災 人 員	人	23	33	-10	-30.3	
損 害 額	千円	64,852	109,134	-44,282	-40.6	
種 別	建 物 火 災	59,922	106,548	-46,626	-43.8	
	林 野 火 災	52	655	-603	-92.1	
	車 両 火 災	4,268	1,453	2,815	193.7	
	船 舶 火 災	0	0	0	-	
	航 空 機 火 災	0	0	0	-	
	そ の 他 の 火 災	610	478	132	27.6	

過去10年間の火災発生状況

火災発生件数

(単位 件)

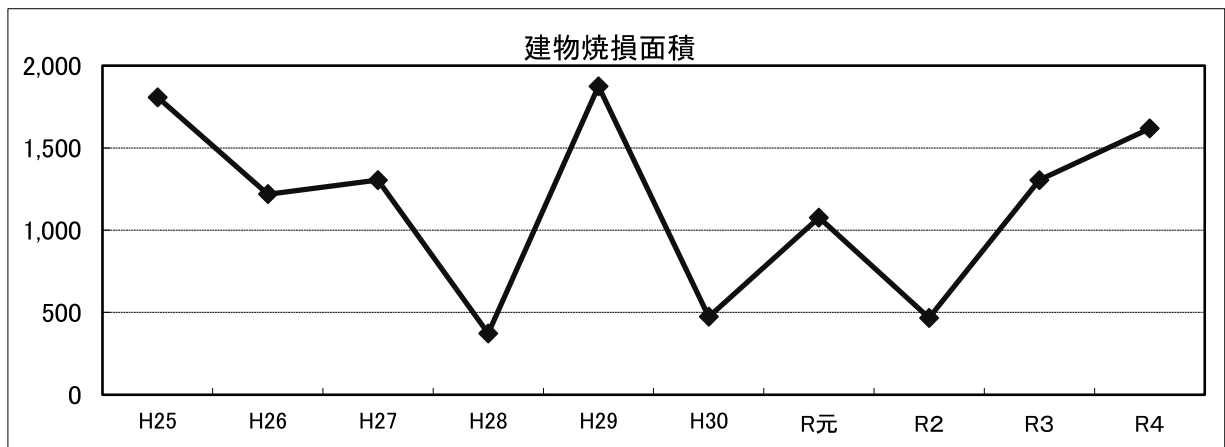
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
出火件数	47	41	48	34	50	48	39	38	55	37
建物火災	25	16	21	23	21	25	14	17	24	17



建物焼損面積

(単位 m²)

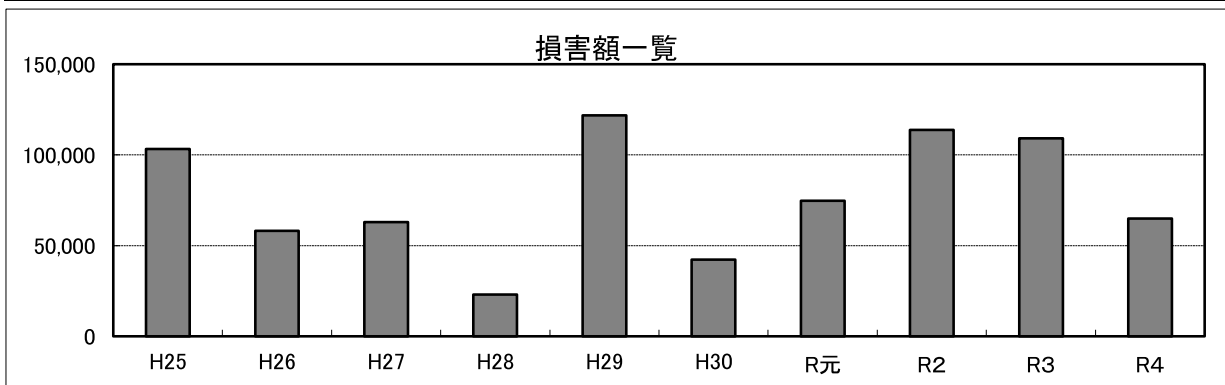
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
焼損面積	1,808	1,219	1,305	373	1,875	474	1,076	467	1,304	1,618



損害額

(単位 千円)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
損害額	103,238	58,140	62,997	22,947	121,808	42,208	74,778	113,816	109,134	64,852



概要
総務
火災
予防
警防
通信・指令
救助
救急
応援協定
消防団
防火協力団体

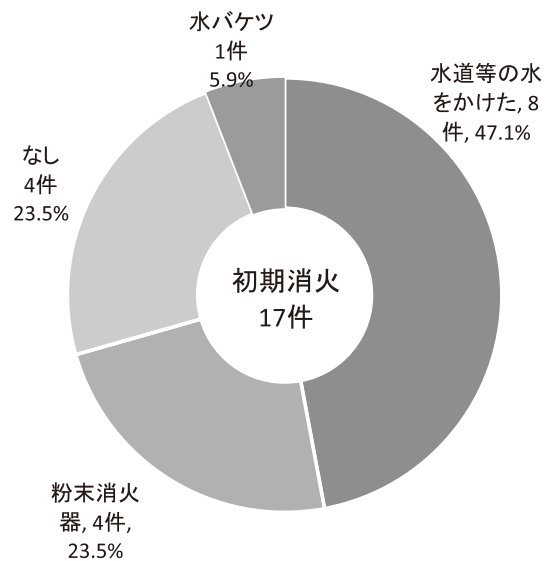
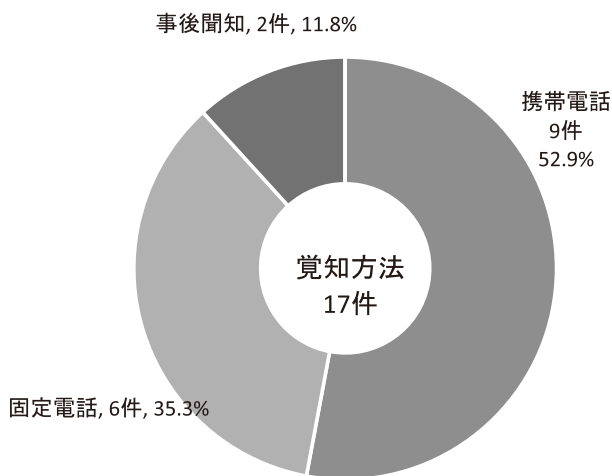
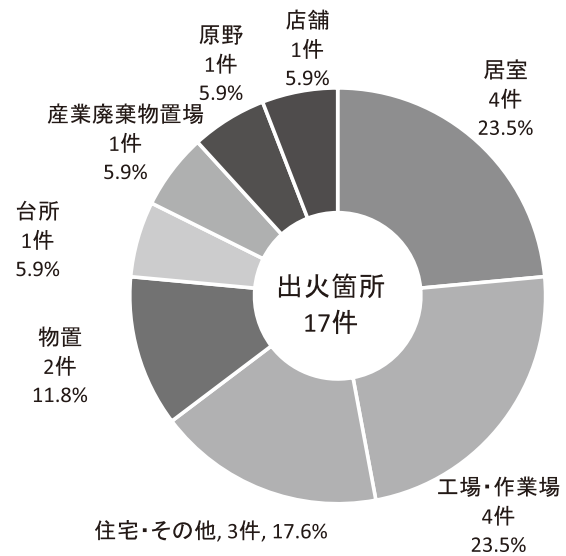
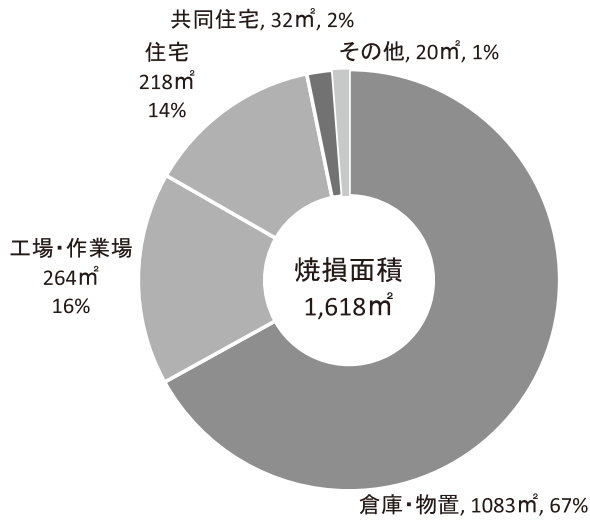
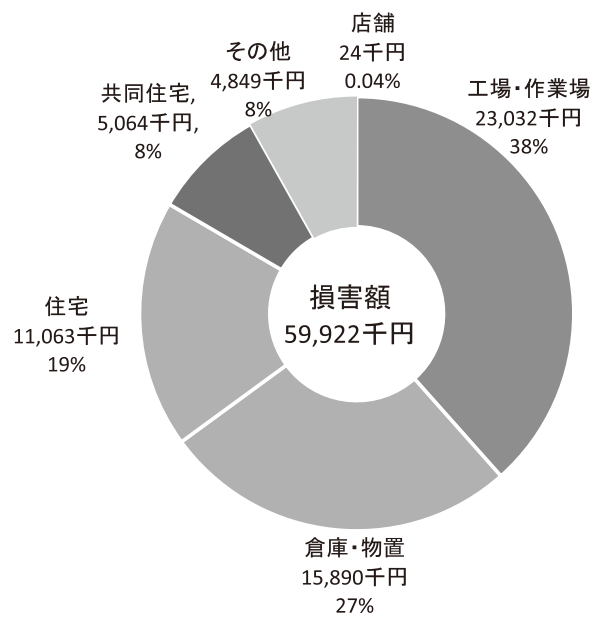
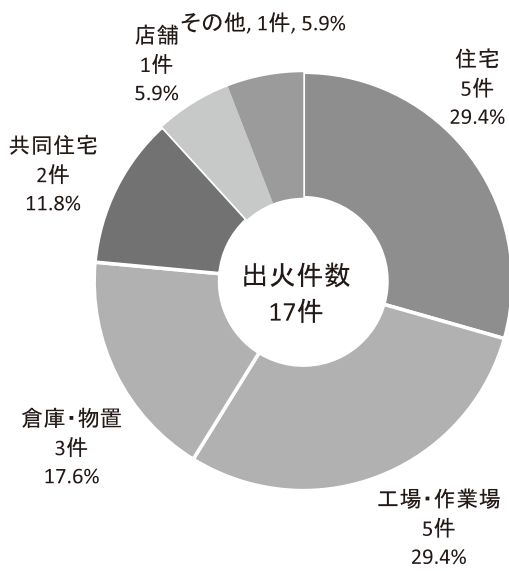
月別火災の概要

令和4年中

区 分	単位	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出火件数	件	37	5	4	5	3	3	2	4	3			2	6
種 別	建物火災	17	1	1	2	3	1	2	1	1			1	4
	林野火災	1			1									
	車両火災	4					1			1			1	1
	船舶火災													
	航空機火災													
	その他の火災	15	4	3	2		1		3	1				1
焼損棟数	棟	26	3	2	2	6	1	2	1	3			2	4
焼 損 程 度	全焼	8				4				2			1	1
	半焼	2	1			1								
	部分焼	6	1	1		1	1			1			1	
	ぼや	10	1	1	2			2	1					3
建物焼損面積	m ²	74	1	20	0	3		22		19			9	
建床焼損面積	m ²	1,544	31			1,179	2		0	223			11	98
林野焼損面積	a	113			9	104								
死者	人	1												1
負傷者	人													
り災世帯数	世帯	9	2		2	2	1	1						1
種 別	全損	3	1			1								1
	半損													
	小損	6	1		2	1	1	1						
り災人員	人	23	3		7	8	2	2						1
損害額	千円	64,852	4,959	420	436	24,684	1,128	5,907	35	17,304			5,551	4,428
種 別	建物火災	59,922	4,938		251	24,684	208	5,907	6	17,251			4,849	1,828
	林野火災	52			52									
	車両火災	4,268					916			50			702	2,600
	船舶火災													
	航空機火災													
	その他の火災	610	21	420	133		4		29	3				

建物火災の状況(令和4年中)

概要
 総務
火災
 予防
 警戒
 通信・指令
 救助
 救急
 応援協定
 消防団
 防火協力団体



出火原因別火災件数

令和4年中

原因別		月別												合計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
出火原因	たばこ	1													1
	こんろ														
	焼却炉												1		1
	ストーブ											1			1
	こたつ														
	煙突・煙道												1		1
	排気管					1			1			1			3
	取灰			1											1
	電灯・電話等の配線	1				1		3	1						6
	配線器具	1		1											2
	電気機器												1		1
	マッチ・ライター														
	たき火	2	2	3											7
	溶接機・溶断機												1		1
	放火					1									1
放火の疑い		1												1	
その他		1					2						2	5	
不明				3				1	1					5	
合計		5	4	5	3	3	2	4	3			2	6	37	

出火原因別の推移

順位	令和4年		令和3年		令和2年		令和元年		平成30年	
	出火原因	件数	出火原因	件数	出火原因	件数	出火原因	件数	出火原因	件数
1	たき火	7	たき火	11	たき火	3	たき火	7	たき火	5
2	電灯・電話等の配線	6	たばこ	5	排気管	3	こんろ	3	たばこ	3
3	排気管	3	こんろ	5	放火の疑い	3	電灯・電話等の配線	3	こんろ	3
4	配線器具	2	放火の疑い	4	こんろ	2	配線器具	3	放火	3
5	焼却炉	1	電気装置	3	たばこ	1	放火の疑い	3	煙突・煙道	2
	ストーブ	1	排気管	2	ストーブ	1	電気装置	2	電気装置	2
	煙突・煙道	1	ストーブ	1	電灯・電話等の配線	1	たばこ	1	電灯・電話等の配線	2
	取灰	1	配線器具	1	配線器具	1	ストーブ	1	ストーブ	1
	たばこ	1	火あそび	1	溶接機・溶断機	1	マッチ・ライター	1	こたつ	1
	電気機器	1	放火	1	放火	1	溶接機・溶断機	1	火あそび	1
	溶接機・溶断機	1					放火	1	ライター	1
放火	1									
放火の疑い	1									
	上記以外	5	上記以外	17	上記以外	14	上記以外	10	上記以外	20
	不明	5	不明	4	不明	7	不明	3	不明	4
	合計	37	合計合計	55	合計	38	合計	39	合計	48

予 防



令和4年度防火ポスターコンクール
小学校の部 金賞
富士宮市立大富士小学校
5年 ミキ 海輝壺冴 さん

予 防 行 政 の 概 要

1 防火対象物等の現況

富士宮市は広大な面積を有する中で、市街地とその周辺の宅地化が進み、建築物の高層化や大型工場の進出が増えつつあります。

これらに対応するため、建築物の予防指導は特に重要なものであります。市民が安全で安心して暮らせる消防対策・予防対策に積極的に取り組んでいます。

なお、管内の防火対象物(150㎡以上)は4,989件、危険物許可施設は395件あります。
(令和5年3月31日現在)

2 予防指導目標

- (1) 査察体制の強化と防火指導の推進
- (2) 防火対象物及び危険物施設の出火防止体制の強化
- (3) 住宅用防災機器の設置推進指導
- (4) 防火意識の高揚と防火協力団体の育成

建築確認消防同意等件数

令和4年度

区分 月	総 数	新 築	増 築	用途変更	計画変更	改 築	総数の内	
							計画通知	許 可 同 意
4	6	5			1			2
5	16	16					1	
6	10	7	1		2			
7	8	7	1					1
8	6	6						
9	11	9	2					1
10	21	21					2	1
11	6	6						1
12	9	9						1
1	9	9						2
2	13	11	1		1		3	2
3	19	14	1		3	1	3	2
合 計	134	120	6	0	7	1	9	13

防火対象物に関する調べ（延面積150㎡以上）

令和5年3月31日現在

項	用 途 別	数 150㎡以上	中・高層建築物状況							計
			3階	4階	5階	6階	7階	8階以上	内31m超	
1	イ 劇場・映画館	3	1							1
	ロ 公会堂・集会場	99	3			1			2	4
2	イ キャバレー・ナイトクラブの類									
	ロ 遊技場・ダンスホール	7			1	1				2
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等									
	ニ カラオケボックス(個室)・インターネットカフェ・マンガ喫茶(個室)	2								
3	イ 待合・料理店の類									
	ロ 飲食店	115	10	1						11
4	百貨店・マーケット・物品販売業を営む店舗又は展示場	271	11	2	1					14
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所	141	14	5	2	1		3	1	25
	ロ 寄宿舎・下宿・共同住宅	1,169	238	56	30	4	1	6	1	335
6	イ 病院・診療所・助産所	92	13	2	1					16
	ロ 老人短期入所施設・養護老人ホーム・特別養護老人ホーム (主に入所施設)	65	11	6						17
	ハ 老人デイサービス・軽費老人ホーム・老人福祉センター・知的障害者通 園施設・保育所・助産施設・障害支援施設等 (主に通所施設)	78	4							4
	ニ 幼稚園・特別支援学校	11								
7	小・中・高等・各種各学校	147	43	12						55
8	図書館・博物館・美術館	8	2		1					3
9	イ サウナ等									
	ロ イ以外の公衆浴場	4								
10	車両の停車場・船舶・航空機の発着場	2								
11	神社・寺院・教会の類	88	2	1						3
12	イ 工場・作業場	883	73	22	17	9	2	1	1	125
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ									
13	イ 自動車庫庫・駐車場	17	1	1	1					3
	ロ 飛行機・回転翼航空機の格納庫									
14	倉庫	382	6	2	4	1				13
15	前各号に該当しない事業場	600	49	8	2	1		1	1	61
16	イ 複合用途防火対象物のうち特定防火対象物を有するもの	532	144	16	3	4		1	1	168
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	264	78	5	1					84
16の2	地下街									
16の3	準地下街									
17	文化財等	6			1				1	1
18	延長50m以上のアーケード	3								
19	市町村長の指定する山林									
20	総務省令で定める舟車									
合	計	4,989	703	139	65	22	3	12	8	945

防火対象物査察及び防火管理者選任届出状況

令和5年3月31日現在

項	用 途 別	消防法第8条 対象物数	令和4年度 査察実施数	令和4年度 査察指示書	重大違反 対象物	防火管理者 選任届出件数
1	イ 劇場・映画館、演舞場、又は観覧場	2				2
	ロ 公会堂又は集会場	209	5	3		135
2	イ キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類					
	ロ 遊技場又はダンスホール	6	1			6
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等					
	ニ カラオケボックス(個室)・インターネットカフェ・マンガ喫茶(個室)	2				2
3	イ 待合、料理店の類					
	ロ 飲食店	131	15	8		83
4	百貨店、マーケットその他の物品販売を営む店舗又は展示場	201	40	7		142
5	イ 旅館、ホテル又は宿泊所	73	7	1		58
	ロ 寄宿舍、下宿又は共同住宅	67				22
6	イ 病院、診療所又は助産所	28	4			26
	ロ 老人短期入所施設・養護老人ホーム・特別養護老人ホーム (主に入所施設)	51	13	4		47
	ハ 老人デイサービス・軽費老人ホーム・老人福祉センター・知的障害者通園施設・保育所・助産施設・障害支援施設等 (主に通所施設)	53	41	5		47
	ニ 幼稚園・特別支援学校	11	13			11
7	小学校、中学校、高等学校、大学、各種学校	49				47
8	図書館、博物館、美術館	6				6
9	イ サウナ等					
	ロ イ以外の公衆浴場	3	1			3
10	車両の停車場、船舶、航空機の発着場					
11	神社、寺院、教会の類	37	2			18
12	イ 工場、作業場	76	4	3	6	78
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ					
13	イ 自動車車庫、駐車場	5				4
	ロ 飛行機、回転翼航空機の格納庫					
14	倉庫	4				3
15	前各号に該当しない事業所	93	8	1		56
16	イ 複合用途防火対象物のうち特定防火対象物を有するもの	195	1		1	107
	ロ イ以外の複合防火対象物	9	1			4
16の2	地下街					
16の3	準地下街					
17	文化財等	1	8			1
18	延長50m以上のアーケード					
19	市町村長の指定する山林					
20	総務省令で定める舟車					
合 計		1,312	164	32	7	908

概 要

総 務

火 災

予 防

警 防

通信・指令

救 助

救 急

応援協定

消防団

防火協力団体

消防用設備着工・設置届出及び完成検査数

令和4年度

設備種別	処理種別	消防用設備検査等		
		着工届	設置届	完成検査
消 火 器			142	39
屋 内 消 火 栓		12	19	14
スプリンクラー設備		2	9	2
屋 外 消 火 栓		4	5	4
水噴霧消火設備等				
漏電火災警報器				
非常警報設備		2	17	9
自動火災報知設備		60	242	81
避難器具		3	3	3
誘 導 灯		1	126	32
連結送水管				
消防機関へ通報する火災報知設備		2	3	1
そ の 他		4	24	17
合 計		90	590	202

防火・防災管理届出・消防計画届出・各点検結果報告数

令和4年度

届出・報告	月別												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
防火管理者 選解任届	27	48	16	16	17	11	9	22	11	4	11	18	210
防災管理者 選解任届									1			1	2
自衛消防組織 設置届	2		2	1				1	1	1		1	9
防火対象物点検 結果報告	1	3	5	3	4	4	8	5	5	4	8	6	56
防災管理点検 結果報告									1		2	2	5
消防計画作成 (変更)届	43	52	17	18	17	12	10	21	10	5	12	21	238
消防用設備等 点検結果報告	139	141	128	66	65	89	95	116	76	75	121	115	1,226

煙火消費許可件数

令和4年度

許可数	月別												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
煙火消費許可			2	2				2			1		7

各種届出件数

令和4年度

種 別	月 別													合 計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
防火対象物使用開始届	11	12	6	8	11	19	5	6	11	18	5	10	122	
少量危険物貯蔵取扱届	3	2	3	5	1		4	2	3	5	1	1	30	
ボ イ ラ ー 設 置 届		2	2	2		1	3		1	1			12	
変 電 設 備 届	1	3	2	3	1			2	5	4	1	4	26	
発 電 設 備 設 置 届			2	2									4	
蓄 電 設 備 設 置 届		1		1						1			3	
炉 設 置 届				1								1	2	
乾 燥 設 備 設 置 届	1		1				1				1		4	
給 湯 湯 沸 設 備							1	1	2				4	
指 定 可 燃 物					1								1	
少量危険物廃止届	1			1	1	11	2			1	2	1	20	
催 物 開 催 届	2	1				2							5	
煙 火 打 上 届	2		4	4	1	1	1	2	2	1	1	2	21	
断 水 等 届	1	1		2	1	2	2	6	10	3	13	1	42	
道 路 工 事 届	60	55	53	55	44	74	65	67	40	66	49	52	680	
た き 火 届	8	9	7	4	9	20	30	31	27	314	25	18	502	
圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス 等	1	11		1	1	11		1		2	11	2	41	
液 化 石 油 ガ ス 設 備 工 事 届									2		1		3	
露 店 等 の 開 設 届	5	2	2	4	2	5	7	6	5	3	2	4	47	
合 計	96	99	82	93	73	146	121	124	108	419	112	96	1,569	

概 要

総 務

火 災

予 防

警 防

通 信 ・ 指 令

救 助

救 急

応 援 協 定

消 防 団

防 火 協 力 団 体

防火管理新規講習実施状況

年 度	資 格 種 別	資 格 取 得 者 数
平 成 3 0 年 度	甲 種	130 人
令 和 元 年 度	甲 種	130 人
令 和 2 年 度	甲 種	98 人
令 和 3 年 度	甲 種	68 人
令 和 4 年 度	甲 種	81 人

防火管理再講習

年 度	資 格 種 別	資 格 取 得 者 数
令 和 3 年 度	甲 種	10 人
令 和 4 年 度	甲 種	20 人

火災予防広報

令和4年度

項 目	総 数	春の火災 予防運動	秋の火災 予防運動
新 聞 報 道	2 回	1 回	1 回
協 力 ・ 通 知 文	1,116 件	558 件	558 件
ポスター配布・掲示	1,116 件	558 件	558 件
消 防 だ よ り	1 回	回	1 回
庁内放送（市役所）	10 回	5 回	5 回

住民指導実施状況

令和4年度

対象物 指導区分		総 数		自主防災組織 (区会・自治会含む)		その他の団体 (各種学校等)		事 業 所	
		回数	参加人員	回数	参加人員	回数	参加人員	回数	参加人員
訓 練	消火訓練	33	1,863			9	871	24	992
	避難通報 訓練	27	1,416			7	554	20	862
教育	防火防災 教 育 (花火教室含む)	32	2,105			29	2,089	3	16
そ の 他	防火相談 (空家・枯草)								
	署内見学	12	410			12	410		
合 計		104	5,794	0	0	57	3,924	47	1,870

2023年度 全国統一防火標語

火を消して 不安を消して つなぐ未来

概
要

総
務

火
災

予
防

警
防

通
信・指
令

救
助

救
急

応
援協
定

消
防団

防
火協
力団
体

製造所等の許可、完成検査及び廃止届等の数

令和4年度

区分		製造所等		合計	製 造 所	小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所		
		合 計	設 置																		
許 可	設 置	2		2		2		2						0							
	変 更	58	3	7		4	2						1	48	7	1				40	
	常置場所 の 変 更	転出	0		0										0						
		転入	0		0										0						
完 成	設 置	2		2		2		2						0							
	変 更	53		10	3	4	2						1	43	8	1				34	
	当 市 に 転 入	0		0										0							
廃 止 等	廃 止	9		5	2	3								4	1					3	
	設 置 許 可 取 消	0		0										0							
前年度比 増減数	設 置	-7	0	-3	-2	-1	0	0	0	0	0	0	0	-4	-1	0	0	0	0	-3	
	設 置 完 成 検 査	-7	0	-3	-2	-1	0	0	0	0	0	0	0	-4	-1	0	0	0	0	-3	

危険物施設立入検査等件数

令和4年度

製造所等	月 別													合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
製 造 所												1	2	3
屋 内 貯 蔵 所	4	2	3	1	2				1			6	11	30
屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		1	1	1								10	16	29
屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所			2	1							2	5	2	12
地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	2	3	5	2				3	3			4	2	24
簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所														0
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所		3	6		4				1			1	2	17
屋 外 貯 蔵 所									1			1		2
給 油 取 扱 所	2	1	1	1	8						1	3	3	20
一 般 取 扱 所	1	2	1		1			1	3			13	6	28
販 売 取 扱 所														0
危 険 物 運 搬 車 両														0
合 計	9	12	19	6	15	0	4	9	0	3	44	44	165	

数量別危険物施設数

令和5年3月31日現在

製造所等 数量別	合計	製造所	貯蔵所								取扱所					
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所	一般取扱所	
設置許可施設	合計	395	4	261	67	74	17	69	0	27	7	130	64	2	0	64
	5倍以下	128		107	19	15	15	27		21	3	21	4	2		15
	5倍を超え10倍以下	90		53	17	13	1	18		1	3	37	7			30
	10倍を超え50倍以下	117	3	81	26	33	1	21		2	1	33	17			16
	50倍を超え100倍以下	22		15	3	7		2		3		7	6			1
	100倍を超え150倍以下	16		5	2	2		1				11	11			
	150倍を超え200倍以下	7		0								7	7			
	200倍を超え1,000倍以下	19	1	4		4						14	12			2
	1,000倍を超え5,000倍以下	0		0								0				
	5,000倍を超え10,000倍以下	0		0								0				
	10,000倍を超えるもの	0		0								0				
完成検査済証交付施設	合計	391	4	257	66	72	17	68	0	27	7	130	64	2	0	64
	5倍以下	120		99	19	14	15	27		21	3	21	4	2		15
	5倍を超え10倍以下	88		51	17	12	1	17		1	3	37	7			30
	10倍を超え50倍以下	118	2	83	25	33	1	21		2	1	33	17			16
	50倍を超え100倍以下	23	1	15	3	7		2		3		7	6			1
	100倍を超え150倍以下	16		5	2	2		1				11	11			
	150倍を超え200倍以下	8	1	0								7	7			
	200倍を超え1,000倍以下	18		4		4						14	12			2
	1,000倍を超え5,000倍以下	0		0								0				
	5,000倍を超え10,000倍以下	0		0								0				
	10,000倍を超えるもの	0		0								0				

概要
総務
火災
予防
警防
通信・指令
救助
救急
応援協定
消防団
防火協力団体

類別危険物施設数

令和5年3月31日現在

類別	製造所等	合計	製造所	貯蔵所								取扱所					
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所	一般取扱所	
設置許可施設	合計	395	4	261	67	74	17	69	0	27	7	130	64	2	0	64	
	単独	第1類	0		0								0				
		第2類	0		0								0				
		第3類	0		0								0				
		第4類	388	4	256	62	74	17	69		27	7	128	64	2		62
		第5類	1		1	1							0				
		第6類	0		0								0				
混在	6		4	4							2				2		
完成検査済証交付施設	合計	391	4	257	66	72	17	68	0	27	7	130	64	2	0	64	
	単独	第1類	0		0								0				
		第2類	0		0								0				
		第3類	0		0								0				
		第4類	384	4	252	61	72	17	68		27	7	128	64	2		62
		第5類	1		1	1							0				
		第6類	0		0								0				
混在	6		4	4							2				2		

2023年度 危険物安全週間推進標語

意志つなぐ 連携プレーで 事故防ぐ

警 防



NBC(核物質.nuclear/生物剤.biological/化学物質.chemical)対応訓練

近年、社会経済情勢の変化の中で、火災等の災害形態も複雑、多様化してきており、その対応はますます困難を極めています。

こうした状況の中で、地域住民の生命、身体、財産を守り、生活の安全を図るため、消防機械器具の近代化、消防水利の整備を積極的に推進し、限られた現有消防設備を有効かつ最大限に活用し、いかなる災害にも即応することが消防に課せられた使命であります。

これらの任務を遂行する職員の知識、技術の向上を図るべく日夜教育、訓練に励み地域の安全確保に努めています。

各種出動状況

令和4年中

種別	出動件数(回)			出動車両(台)			出動人員(人)			
	合計	中央消防署管内	西消防署管内	合計	中央消防署管内	西消防署管内	合計	中央消防署管内	西消防署管内	
火災出動	建物火災	37	19	18	75	34	41	219	95	124
	林野火災	2	1	1	4	1	3	11	2	9
	車両火災	7	3	4	13	4	9	37	10	27
	航空機火災									
	船舶火災									
	その他の火災	28	13	15	58	28	30	166	78	88
	火災出動小計	74	36	38	150	67	83	433	185	248
警戒出動	怪煙	25	11	14	26	12	14	99	45	54
	自火報等	34	14	20	34	14	20	126	55	71
	自然災害	9	4	5	11	5	6	34	15	19
	ガス事故	3	1	2	5	3	2	18	10	8
	救急応援	464	221	243	481	237	244	1,867	929	938
	一般事故	10	1	9	11	2	9	36	6	30
	警戒出動小計	545	252	293	568	273	295	2,180	1,060	1,120
応援出動	6	6		8	8		25	25		
集団救急出動										
危険排除出動	21	8	13	22	8	14	77	31	46	
合計	646	302	344	748	356	392	2,715	1,301	1,414	

教育・訓練状況

令和4年中

種別	中央消防署管内	西消防署管内	合計
演習訓練	11	4	15
操縦訓練	155	172	327
機械器具取扱訓練	105	90	195
放水訓練	212	207	419
火災防ぎよ訓練	208	179	387
救急訓練	147	173	320
救助訓練	567	705	1,272
規律訓練	72	70	142
学科教養	953	1,054	2,007
山岳訓練	10		10
計(回)	2,440	2,654	5,094

消防車両配置状況

令和5年4月1日現在

配置区分	車 両 別	登録番号	会 社 名	年式	ポンプ等 製造所名	購入年月日	備 考
消防本部	指令車	富士山803 さ 1053	トヨタ	2011		H 24. 2. 2	エステイマ
	指揮車	富士山840 せ 52	トヨタ	2021		R 3. 3. 1	プリウスα
	団指揮広報車	富士山803 さ 2456	三菱	2018		H 30. 2. 8	デリカ
	広報車	富士山803 さ 1081	トヨタ	2011		H 24. 3. 8	ハイエース
	査察車	富士山803 さ 41	トヨタ	2008		H 20. 8. 22	サクシード
	災害用バイク	富士宮市 56	ヤマハ	1996		H 8. 2. 19	125cc
	連絡車	富士山481 い 4758	ダイハツ	2012		H 24. 4. 6	ハイゼット
中央消防署	中央山岳救助車	富士山803 さ 278	トヨタ	2006		H 18. 12. 25	ランドクルーザー
	中央資機材車	富士山803 さ 974	いすゞ	2011		H 23. 12. 1	エルフ
	中央梯子車	富士山840 さ 845	日野	2004	モリタ	H 16. 12. 20	30メートル級 水管付先端屈折型
	中央工作車	富士山840 さ 41	日野	2016	モリタ	H 29. 2. 27	Ⅲ型
	中央タンク車	富士山840 む 3776	いすゞ	2012	日本機械	H 25. 3. 26	水槽付ポンプ
	中央救急車	富士山840 さ 1191	トヨタ	2023		R 5. 3. 17	
	中央指揮車	富士山840 せ 51	トヨタ	2016		H 29. 3. 21	
中央消防署 芝川分署	芝川タンク車	富士山840 さ 1219	いすゞ	2014	日本機械	H 27. 2. 20	水槽付ポンプCD-I
	芝川救急車	富士山840 す 1219	トヨタ	2015		H 28. 1. 20	
	連絡車	富士山881 あ 32	ダイハツ	2001		H 13. 1. 31	アトレーワゴン
中央消防署 東分署	東タンク車	富士山840 さ 8880	いすゞ	2016	日本機械	H 28. 2. 17	水槽付ポンプ
	東救急車	富士山840 す 8880	トヨタ	2019		H 31. 3. 22	
	連絡車	富士山481 あ 2703	スズキ	1997		H 9. 3. 10	軽トラック
西消防署	西水槽車	富士山840 て 119	日野	2011	日本機械	H 23. 3. 14	水槽Ⅱ型
	西化学車	富士山840 つ 24	日野	2019	モリタ	H 31. 2. 19	化学車Ⅱ型
	西救急車	富士山840 そ 19	トヨタ	2018		H 30. 3. 26	
	西指揮車	富士山803 さ 269	日産	2002		H 14. 7. 12	ADバン
西消防署 北分署	北タンク車	富士山840 に 119	いすゞ	2014	日本機械	H 27. 2. 18	水槽付ポンプ
	北工作車	富士山803 は 35	いすゞ	1997	畠山ポンプ	H 13. 3. 16	Ⅱ型
	北救急車	富士山840 さ 2256	トヨタ	2021		R 4. 2. 24	
	連絡車	富士山481 あ 2704	スバル	2004		H 16. 3. 3	軽トラック
	災害用バイク	富士宮市 57	ヤマハ	1996		H 8. 2. 19	125cc
西消防署 上野分署	上野タンク車	富士山840 さ 1119	いすゞ	2018	畠山ポンプ	H 30. 3. 16	水槽付ポンプ
	上野救急車	富士山840 さ 1403	日産	2019		H 31. 2. 25	
	連絡車	富士山481 あ 2705	スバル	2004		H 16. 3. 3	軽トラック
予備	非常用タンク車	富士山840 さ 1771	いすゞ	2008	日本機械	H 20. 2. 18	水槽付ポンプ
	非常用救急車	富士山840 す 5119	トヨタ	2013		H 26. 1. 28	

消火薬剤備蓄状況

令和5年4月1日現在

署 別		設 置 場 所 等		数 量	品 名
中央消防署	中央	中央タンク車	ポリ容器20ℓ×2	40 ℓ	合成界面活性剤
		備蓄	ポリ容器20ℓ×8	160 ℓ	合成界面活性剤
	芝川	芝川タンク車	ポリ容器20ℓ×2	40 ℓ	合成界面活性剤
		備蓄	ポリ容器20ℓ×3	60 ℓ	合成界面活性剤
	東	東タンク車	ポリ容器20ℓ×2	40 ℓ	合成界面活性剤
		備蓄	ポリ容器20ℓ×9	180 ℓ	合成界面活性剤
計			520 ℓ		
西消防署	西	非常用タンク車	ポリ容器20ℓ×3	60 ℓ	合成界面活性剤
		西化学車	車載タンク内 ポリ容器20ℓ×4	580 ℓ	合成界面活性剤
		備蓄	ポリ容器20ℓ×9	180 ℓ	合成界面活性剤
	北	北タンク車	ポリ容器20ℓ×2	40 ℓ	合成界面活性剤
		備蓄	ポリ容器20ℓ×3	60 ℓ	合成界面活性剤
	上野	上野タンク車	ポリ容器20ℓ×3	60 ℓ	合成界面活性剤
		備蓄	ポリ容器20ℓ×3	60 ℓ	合成界面活性剤
	計			1,040 ℓ	
	合 計			1,560 ℓ	

概
要

総
務

火
災

予
防

警
防

通
信・指
令

救
助

救
急

応
援協
定

消
防団

防
火協
力団
体

消防水利の現況

令和5年4月1日現在

区分 分団	防 火 水 槽						消 火 栓			その他	合計	
	100m ³ 以上		40~100m ³ 未満		40m ³ 未満		小 計 (耐震性)	公設	私設			小計
	公設	私設	公設	私設	公設	私設						
1	2		13	2			17 (12)	42	1	43		60
2	1		11	7	1		20 (17)	47		47	2	69
3	2		19	7	1		29 (22)	46	1	47	3	79
4	1		3				4 (4)	23		23	1	28
5	1		26	3			30 (21)	51	1	52	4	86
6	3		68	13	3		87 (68)	176		176	12	275
7	1		10	1		4	16 (11)	34	3	37	2	55
8		1	38	9	3		51 (33)	60		60	9	120
9	1		14	2	1	2	20 (16)	26		26	1	47
10			17	3	4	1	25 (17)	6		6	1	32
11	1		29	7			37 (27)	37		37	2	76
12	3		42	8	1		54 (36)	69	1	70		124
13	1		26	4	15	1	47 (20)	28		28		75
14	2		46	5	6		59 (43)	96		96	3	158
15	1		62	4	15	8	90 (53)	30	5	35	4	129
16			31	19	9	1	60 (40)	46	6	52	3	115
17		1	34	35	3	9	82 (61)	49	2	51	4	137
18			7	8			15 (14)	12	8	20	1	36
19			10	3			13 (10)	19		19	2	34
20		2	22	20	1	3	48 (27)	31	34	65	11	124
21	1	1	11	25	3	3	44 (24)	18	14	32	7	83
22			23	6		1	30 (25)	17	8	25	1	56
23			26	3	1		30 (28)	60	7	67	1	98
24			14		4		18 (14)	14		14	1	33
25			9		11		20 (10)	26		26	2	48
26			9	6	3		18 (14)	26		26	1	45
27			31	8	24		63 (36)	66	2	68	4	135
28			15	7	4	1	27 (23)	36	2	38	6	71
合計	21	5	666	215	113	34	1,054 (726)	1,191	95	1,286	88	2,428

令和4年度新設基数

区分 分団	防 火 水 槽						消 火 栓			その他	合計	
	100m ³ 以上		40~100m ³ 未満		40m ³ 未満		小 計 (耐震性)	公設	私設			小計
	公設	私設	公設	私設	公設	私設						
富士宮			3	3			6 (6)	8		8	1	15

通信・指令



富士市・富士宮市消防指令センター
(警防救急課 情報指令室)

119番の受信状況

令和4年中

内容 月	火 災	救 急 救 助	他 災 害	問 合 せ	病 院 照 会	い た ず ら	ま ち が い	そ の 他	訓 練 ・ 試 験	合 計	
1	10	537	3	35		1	31	26	25	668	(293)
2	14	462	2	28			18	23	28	575	(230)
3	10	442	2	32			49	31	42	608	(280)
4	4	471	4	19	2	1	40	33	67	641	(298)
5	3	470	10	11			29	45	48	616	(288)
6	1	462	6	19		2	33	28	43	594	(263)
7	4	577	6	35		2	37	82	31	774	(367)
8	3	638	5	48		1	31	59	18	803	(397)
9	1	555	6	35		1	26	55	36	715	(325)
10		536	5	22			35	48	48	694	(346)
11	3	548	4	23			45	42	57	722	(346)
12	6	672	3	56		4	43	78	34	896	(415)
合計	59	6,370	56	363	2	12	417	550	477	8,306	(3,848)

※ () 内の数字は携帯電話からの受信件数を表す

富士市・富士宮市消防指令センター 応援指令状況

令和4年中

種 別	富士市へ応援	富士市から受援	富士市以外へ応援	富士市以外から受援	合計
火 災	1	3			4
救 急	3	7	1		11
救 助					0
その他	1				1
合 計	5	10	1	0	16

概
要
総
務
火
災
予
防
警
防
通
信
・
指
令
救
助
救
急
応
援
協
定
消
防
団
防
火
協
力
団
体

通信施設の状況

・消防指令センター(富士市消防防災庁舎内)

指 令 装 置	指 令 台	通常時は 5 回線受信体制をとっていますが、大災害時等、119 番通報が殺到する場合(大幅輻射時)には最大 15 回線の同時受信が可能です。
	統合型位置情報通知システム	携帯電話・IP 電話及び固定電話からの 119 番通報に対し、通報場所を特定することが可能です。
	出動車両運用管理装置	GPS(測位衛星)を活用し、災害発生場所により近い車両を選別、更には、その災害に応じた車両種別及び台数を自動的に編成します。
	メール指令設備	消防団員が所持している携帯電話やスマートフォンに、火災発生時の出動指令を E メールで配信します。
	NET119 及び FAX119 受信設備	聴覚や言語に障がいがあり、通話による 119 番通報が困難な方のために、携帯電話やスマートフォンのアプリケーション及びファックスを使用し 119 番通報することができます。
	外国語三者通話	119番通報、災害現場などで、日本語での会話が困難な外国人をサポートするため、英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語他 21 か国語について、電話による通訳者を交えた24 時間対応の電話通訳体制で運用しています。
車両運用端末装置 (A V M)		車両から活動状況を指令センターに送るとともに、指令情報や地図情報、水利情報等の支援情報を出動中の車両内で閲覧することができます。
現場映像伝送装置		指揮隊に配備されており、ビデオハンディカメラで撮影した現場映像を消防本部及び指令センターで閲覧することができ、迅速な災害対策指揮に役立っています。
消防用高所監視装置		富士宮市役所及び富士市金丸山に設置されている監視カメラにより、災害現場の状況を瞬時に把握することができます。
気象観測システム		富士宮市役所に設置されており、天気、風向、風速、雨量、気温等を常時観測し、消防活動に役立っています。

・消防指令センター サポート室(富士宮市役所消防本部内)



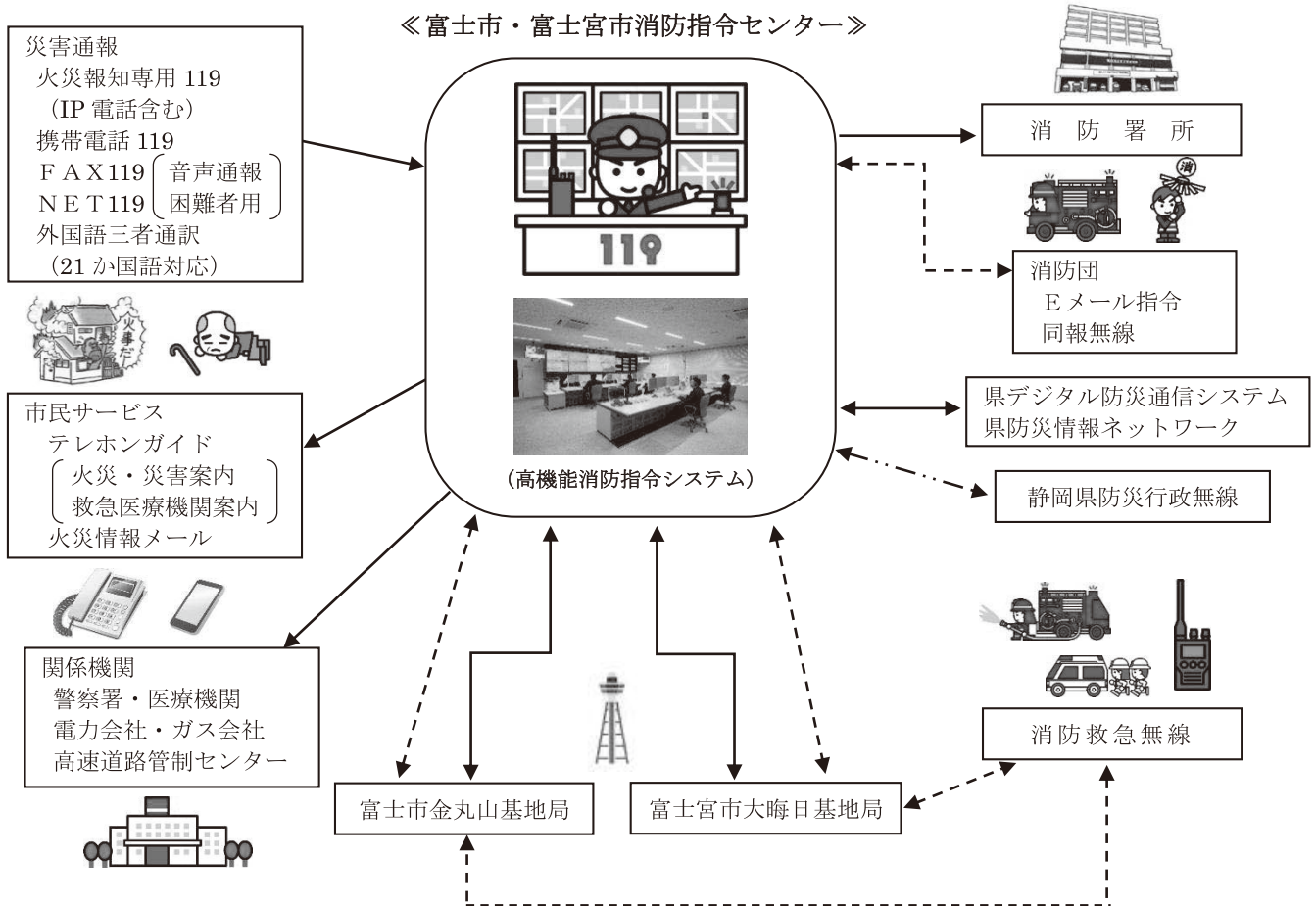
大規模災害発生時には、富士宮市消防本部の消防指揮本部として運用するとともに、消防指令センターが機能しなくなった場合には、両市の 119 番回線を本施設に迂回させ、通信指令業務を富士宮市で継続することができます。

富士市・富士宮市消防指令センター系統図

近年、市民生活を脅かす災害は、複雑多様化・大規模化しており、あらゆる状況に的確・迅速に対応することが、市民の安全・安心を守る行政の重要な役割である。

このような状況を踏まえ、平成 27 年 9 月 10 日から最先端の技術を駆使した高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線設備を導入した「富士市・富士宮市消防指令センター」の運用を開始している。

(1) 消防指令システム系統図



●18GHz 帯多重無線

消防指令センターと金丸山・大晦日基地局は、指令回線のバックアップとして 18GHz 帯の県防災マイクロ波多重無線回線と接続されており、大容量の音声やデータが送受信可能である。

《無線一覧》

無線 基地 局	ふじしれい 金丸山 (5W) 大晦日 (2W)	活動波	1 富士消防波
			2 富士救急波
			3 共用波
			4 宮消防波
			5 宮救急波
		共通波	主運用波 1
			統制波 1
			統制波 2
			統制波 3
			統制波 3

無線 移動 局	車載型	消防車両等	22
		救急車	7
	携帯型	37	
卓上型	7		
※移動局のうち、消防車 24 台・救急車 11 台を動態管理			

凡 例	有線	—————
	無線	-----
	防災無線	- - - - -

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体

無線配置状況

令和5年3月31日現在

所属	呼 出 名 称	区 分	出力 (W)	免許番号	
消防指令 センター	かなまるやまきちきよく	基地局	5	海基第	2272250
	おおづもりきちきよく	基地局	2	海基第	2272251
	みやきょうどう 1	車載予備機	5	海移第	20260178
中央消防署	みやちゅうおう 11	タンク車	5	海移第	20260225
	みやちゅうおう 31	梯子車	5	海移第	20260227
	みやちゅうおう 41	救助工作車	5	海移第	20260228
	みやちゅうおう 42	山岳救助車	5	海移第	20260229
	みやちゅうおう 43	資機材搬送車	5	海移第	20260230
	みやちゅうおう 51	指揮車	5	海移第	20260231
	みやきゅうきゅうちゅうおう 1	救急車	5	海移第	20260240
	みやきゅうきゅうちゅうおう 2	非常用救急車	5	海移第	20260241
	みやちゅうおう 101	携 帯	2	海移第	20260388
	みやちゅうおう 102	携 帯	2	海移第	20260389
	みやちゅうおう 103	携 帯	2	海移第	20260390
	みやちゅうおう 104	携 帯	2	海移第	20260391
	みやちゅうおう 105	携 帯	2	海移第	20260392
	みやちゅうおう 106	携 帯	2	海移第	20260393
	みやちゅうおう 107	携 帯	2	海移第	20260394
	みやちゅうおう 108	携 帯	2	海移第	20260395
	みやちゅうおう 109	携 帯	2	海移第	20260396
	みや 106	携 帯	2	海移第	20260425
	みやちゅうおうこてい 1	卓 上	5	海移第	20259655
	芝川分署	みやしばかわ 11	タンク車	5	海移第
みやきゅうきゅうしばかわ 1		救急車	5	海移第	20260243
みやしばかわ 101		携 帯	2	海移第	20260397
みやしばかわ 102		携 帯	2	海移第	20260398
みやしばかわ 103		携 帯	2	海移第	20260399
みやしばかわ 104		携 帯	2	海移第	20260400
みやしばかわこてい 1		卓 上	5	海移第	20259656
東分署	みやひがし 11	タンク車	5	海移第	20260237
	みやきゅうきゅうひがし 1	救急車	5	海移第	20260244
	みやひがし 101	携 帯	2	海移第	20260401
	みやひがし 102	携 帯	2	海移第	20260402
	みやひがし 103	携 帯	2	海移第	20260403
	みやひがし 104	携 帯	2	海移第	20260404
	みやひがしこてい 1	卓 上	5	海移第	20259657

所属	呼出名称	区分	出力(W)	免許番号	
西消防署	みやにし 21	化学車	5	海移第	20260226
	みやにし 51	指揮車	5	海移第	20260234
	みやにし 71	水槽車	5	海移第	20260235
	みやきゆうきゆうにし 1	救急車	5	海移第	20260242
	みや 1	非常用タンク車	5	海移第	20287043
	みやにし 101	携帯	2	海移第	20260405
	みやにし 103	携帯	2	海移第	20260407
	みやにし 104	携帯	2	海移第	20260408
	みやにし 105	携帯	2	海移第	20260409
	みやにし 106	携帯	2	海移第	20260410
	みや 105	携帯	2	海移第	20260424
	みやにしこてい 1	卓上	5	海移第	20259658
北分署	みやきた 11	タンク車	5	海移第	20260238
	みやきた 41	救助工作車	5	海移第	20260233
	みやきゆうきゆうきた 1	救急車	5	海移第	20260245
	みやきた 101	携帯	2	海移第	20260411
	みやきた 102	携帯	2	海移第	20260412
	みやきた 103	携帯	2	海移第	20260413
	みやきた 104	携帯	2	海移第	20260414
	みやきた 105	携帯	2	海移第	20260415
	みやきたこてい 1	卓上	5	海移第	20259659
上野分署	みやうえの 11	タンク車	5	海移第	20260239
	みやきゆうきゆううえの 1	救急車	5	海移第	20260246
	みやうえの 101	携帯	2	海移第	20260416
	みやうえの 102	携帯	2	海移第	20260417
	みやうえの 103	携帯	2	海移第	20260418
	みやうえの 104	携帯	2	海移第	20260419
	みやうえのこてい 1	卓上	5	海移第	20259660
消防本部	みや 51	指令車	5	海移第	20260220
	みや 52	指揮車	5	海移第	20260221
	みや 61	団指揮広報車	5	海移第	20260222
	みや 62	広報車	5	海移第	20260223
	みや 71	査察車	5	海移第	20260224
	みや 101	携帯	2	海移第	20260420
	みや 102	携帯	2	海移第	20260421
	みや 103	携帯	2	海移第	20260422
	みや 104	携帯	2	海移第	20260423
	みやけいぼうこてい 1	卓上	5	海移第	20259661
	みやにし 11	車載予備機	5	海移第	20260232

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体

富士宮市気象観測結果

令和4年中

種別 月	月平均風速(m/s)		月最大瞬間風速(m/s)		気 温(°C)			湿度(%)	月降雨量 (mm)
	風 速	風 向	風 速	風 向	月平均	月最高	月最低	月平均	
1	1.7	北西	23.0	北西	4.6	14.3	-3.1	54.2	23.0
2	1.9	北西	23.1	北北西	4.9	15.3	-2.8	50.7	49.5
3	2.0	北西	20.1	西北西	11.2	25.8	1.1	63.8	108.5
4	2.1	南南東	16.0	北西	14.8	26.1	4.5	78.1	276.0
5	1.7	南南東	18.7	南南東	18.1	28.8	7.6	74.7	218.0
6	1.7	南南東	14.2	南東	21.7	32.8	15.2	83.1	113.5
7	1.6	南南東	13.2	南東	25.6	33.1	20.0	86.9	392.5
8	1.7	南	16.5	南南東	26.5	35.2	20.4	86.8	334.0
9	1.5	南	18.8	南	24.4	32.4	17.8	81.2	429.5
10	1.5	北西	15.1	南南東	17.3	29.3	6.4	75.4	128.5
11	1.5	北西	13.1	南東	14.4	24.8	6.6	73.2	197.5
12	1.7	北西	19.2	北西	7.1	17.2	-2.7	62.3	46.5
	年平均 1.7	年平均 北西	年最大 23.1	年最大 北北西	年平均 15.9	年最高 35.2	年最低 -3.1	年平均 72.5	年間雨量 2317.0

警報・注意報等

令和4年中

種別 月	警 報					注 意 報 等													
	大雨	洪水	暴風	大雪	浸水	大雨	洪水	強風	風雪	大雪	雷	濃霧	乾燥	なだれ	低温	霜	着氷 (雪)	浸水	火災気象通報
1										1	1	2			7		1		
2				1						1	2	1		1	1		2		
3						1					6	2	1	3		7			1
4						2	1	1		2	7	5			3				
5		1				2	1			1	8	1							
6										1	10	8							
7	1					9	2				15	2							
8	1					5	1	1			11	2							
9	2					5	2	1			8								1
10						2					3								
11	1					2					6	1							
12						1		1			2								1
合 計	5	1	0	1	0	29	7	4	0	6	79	24	1	4	8	10	3	0	3

救 助



特別救助訓練中の様子(ロープブリッジ渡過)

救助業務

消防機関の行う人命救助は、自然災害、人為的災害を問わず広く一般の災害事象により、要救助者の生命又は身体に現実の危険が及んでいる場合で、要救助者の生存が確認又は予想される状況下において人力、機械力等を用いて、その危険を排除し安全な場所に救出することをいい、隊員は救助知識、高度の技術習得、練磨に励み、人命救助に全力を注いでいる。

発生場所別事故件数

令和4年中

種別 発生場所		火災		交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	爆発 事故	山岳 事故	その他 の 事故	計
		建物	建物 以外										
屋内	住居	5						2				1	8
	その他の屋内	5						2					7
屋 道 路	高速自動車道												0
	その他の道路		2	17								1	20
水 面	内水面			1	3							2	6
	外水面												0
外	山岳										24		24
	その他の屋外		4	4								3	11
地下													0
その他				1								6	7
計		10	6	23	3	0	2	2	0	0	24	13	83

月別・事故別出動件数

令和4年中

種別 月別		火災		交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	爆発 事故	山岳 事故	その他 の 事故	計
		建物	建物 以外										
1		1		2								1	4
2		1	2	3			1					1	8
3			2	1									3
4		3		3							1	3	10
5		1	1	1				1			1		5
6		1		1	3								5
7				2							6	3	11
8		1		1							7		9
9				1			1				2	2	6
10				1				1			6	1	9
11		1		5								1	7
12		1	1	2							1	1	6
計		10	6	23	3	0	2	2	0	0	24	13	83

事故別出動車両、出動・活動・救出人員

令和4年中

種 別		火災		交 通	水 難	風水害 等自然 災 害	機 械 による 事 故	建物等 による 事 故	ガス及 び酸欠 事 故	爆 発 事 故	山 岳 事 故	その他 の 事 故	計	
		建物	建物 以外											
区 分				事 故	事 故									
出 動 件 数		10	6	23	3		2	2			24	13	83	
活 動 件 数		1		18	3			2			16	5	45	
出 動 車 両	救助工作車	10	6	23	3		2	2			1	13	60	
	消防タンク車	2		17	1		2				1	2	25	
	梯子車												0	
	化学車			5	2							2	9	
	指揮車・指令車	1		23	3		2				1	3	33	
	救急自動車	1		28	3		2	2				4	40	
	その他	1		1	2						27	1	32	
	計	15	6	97	14		8	4			30	25	199	
出 動 人 員	専任救助隊員	29	21	56	7			6			99	36	254	
	兼任救助隊員	3		25	3		6				4	10	51	
	消防隊員	11		128	18		11				5	25	198	
	救急隊員	3		85	9		6	6				15	124	
	計	46	21	294	37		23	12			108	86	627	
活 動 人 員	専任救助隊員	3		33	7			6			67	7	123	
	兼任救助隊員			17								3	20	
	消防隊員	11		68	9							25	113	
	救急隊員	3		49	3			6				9	70	
	計	17		167	19			12			67	44	326	
救出人員		1	0	18	3		0	2			17	5	46	
屋 内	住 居	1						2				1	4	
	その他の屋内												0	
屋 外	道 路	高速自動車道											0	
		その他の道路			13								13	
	水 面	内 水 面			1	3							2	6
		外 水 面												0
	山 岳											17		17
	その他の屋外				3								2	5
地 下													0	
そ の 他				1									1	

品名	配置先			西消防署			予備車	合計
	中央	芝川	東	西	北	上野		
一般救助用器具	かぎ付はしご	4	1	1	2	3	1	12
	三連はしご	4		1	2	2	1	10
	金属製折りたたみはしご	1			1			2
	ワイヤはしご	1	1		2	1		5
	空気式救助マット	1	1		1	1		4
	救命索発射銃	1	1		1	1		4
	サバイバースリング	1			1	1	1	4
	救助用縛帯	3	3		1	2		9
	平担架	2				1		3
排除・切断・破壊用器具	大型油圧ジャッキ	1	1		1	2		5
	アルミニウムジャッキ	1	1		1	1	1	5
	大型油圧スプレッダー	2	1	1		2	1	7
	マット型空気ジャッキ	1	1	1		2	1	6
	レスキューエアークッション	1						1
	可搬式ウインチ	3	2	1	2	2		10
	簡易起重機				1			1
	マンホール救助器具	1	1		1	1		4
	大型油圧切断機	2	1			2	1	6
	油圧切断機	1	1	1		2	1	7
	レスキューバカッター	1	1	1			1	4
	空気鋸	1	1			1		3
	空気式切断機	1				3		4
	鉄線カッター	7	2	1	3	4	2	20
	エンジンカッター	1	1	3	1	3	1	11
	チェーンソー	4	2	2	2	3	4	18
	ガス溶断器	2	1	1	1	1	1	7
	酸素溶断器				1	1		2
	ハンマードリル	2	1	1	1	2		7
	削岩機	1	1		1			3
万能斧	9	2	2	3	5	2	24	
ハンマー	2	2	1	2	2	1	10	
携帯用コンクリート破壊器具	1	1	1	1	2		6	
チェーンブロック	3			1			4	
救助用支柱器具セット	1			1			2	
測定器具	複合型ガス測定器	5	1	1	1	2	1	12
	有毒ガス測定器	1			1			2
	放射線測定器	2				1		3
呼吸保護器具	空気呼吸器	22	4	5	12	10	4	62
	酸素呼吸器	5				5		10
	防塵マスク	45	13	4	28	24		114
	エアラインマスク					1		1
	簡易呼吸器	5				2		7
	圧縮空気充填機	1						1
	送排風機	1		1	1	1		4
加圧排煙機	2						2	

概要

総務

火災

予防

警戒

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体

品名	配置先	中央消防署			西消防署			予備車	合計
		中央	芝川	東	西	北	上野		
隊員保護用器具	安全帯	13		10	4	11	2		40
	防塵メガネ	44	13	3	39	25			124
	レスキューコール	10	3	3	7	9	3		35
	活線接近警報器	7			1	2			10
	耐電手袋	9	2	2	2	4	4		23
	耐電衣	9	2	2	2	4	4		23
	耐電ズボン	9	2	2	2	4	4		23
	耐電長靴	9	2	2	2	4	4		23
	防毒マスク	15				5			20
	陽圧式化学防護服	4			4				8
	化学防護服	22	4	4	9	11	4	3	57
	耐熱服	2	2	2	6	1		1	14
	放射線保護服	4							4
	除染剤散布器	1							1
除染シャワー	1							1	
水難救助器具	救命ボート	1	1		1	1	1		5
	救命胴衣	13	21	5	10	14	9		72
	救命浮環	8	5		2	3	1		19
	水中投光器	5							5
	ウエットスーツ	5	3			4	3		15
	ブーツ	20	3			4	3		30
	足ひれ(Cフィン)								0
	マスク	5							5
	シュノーケル	5							5
	潜水用ヘルメット	5	3			2	3		13
山岳器具	登山器具	45							45
	バスケット担架	5	1	1	1	3	1	1	13
その他の救助用器具	投光器	6	1	2	4	2	1	2	18
	携帯投光器	31	7	10	13	13	8	1	83
	携帯拡声器	6	1	1	2	3	1	1	15
	応急処置用セット	2	1	1	1	2		1	8
	車両移動器具	1			1				2
	緩降機	3				1			4
	ロープ登降機	5				4			9
	ロープ降下機	2				2			4
	滑車	21	2		5	26	2		56
	発電機	5	1	2	3	3	1	1	16
	とび口	13	2	2	4	9	3	2	35
	斧	2	1	1	3	3	1	1	12
	なた	4	3	3	4	6	2	1	23
	金てこ(ボール)	28	5	5	11	8	2	1	60
	鎌	5	5	5	9	5	11	2	42
	鋸	4	5	3	8	5	8	2	35
	つるはし	3	2	1	1	1	1		9
掛け矢	2	6	1	2	3	3		17	
シャベル	6	12	1	6	16	8	1	50	
鍬		2			3			5	
鉄筋探知機	1							1	

品名	配置先	中央消防署			西消防署			予備車	合計
		中央	芝川	東	西	北	上野		
検 索 用 器 具	赤外線スコープ		1		1	1			3
	暗視スコープ	2							2
	ファイバースコープ		1		1	2			4
	画像検索機					1			1
	音響探知機					1			1
支 援 資 器 材	エアーテント	1			1				2
	隊員用テント	2				1			3
	シユラフ	10							10
	携帯電話機	4	1	1	2	1	1		10
	携帯受信機								0
	折り畳み式リヤカー	1	2	1	1	1			6
高 度 救 助 器 具	画像検索機Ⅰ型	1							1
	画像検索機Ⅱ型	1							1
	地震警報器	1							1
	夜間用暗視装置	1							1
	地中音響探知機	1							1
	熱画像直視装置	2	1	1	1	1	1		7

※ 地震対策用資機材を含む

概
要

総
務

火
災

予
防

警
防

通
信・指
令

救
助

救
急

応
援協
定

消
防団

防
火協
力団
体

救 急



新・感染防護衣

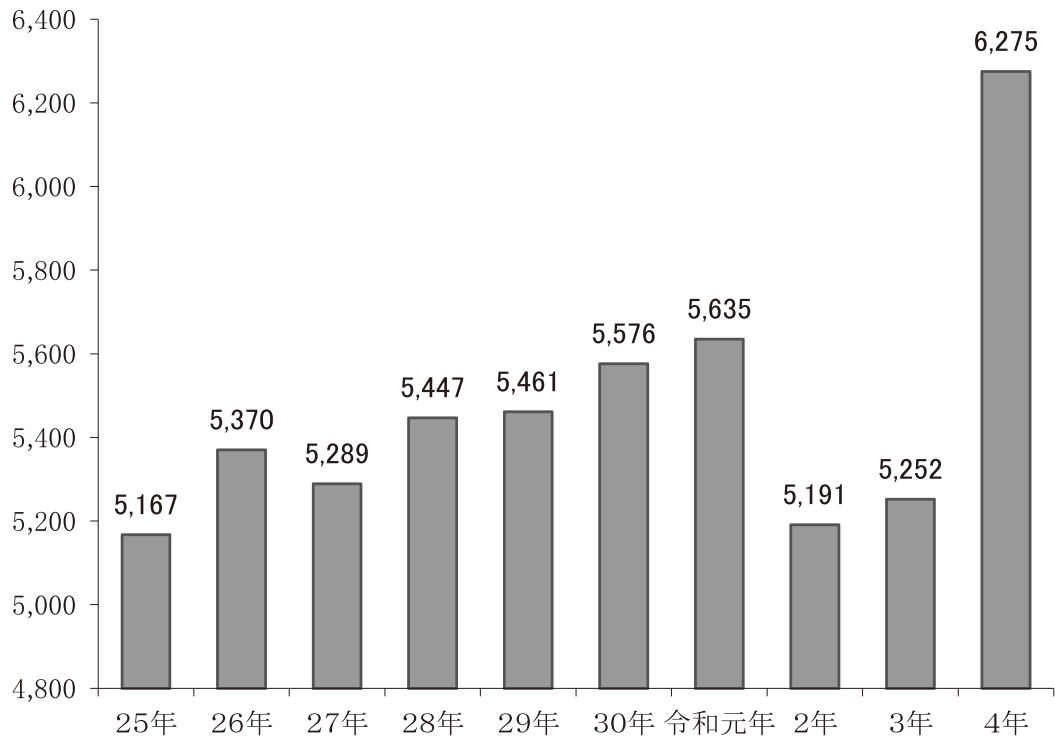
月別事故活動状況

令和4年中

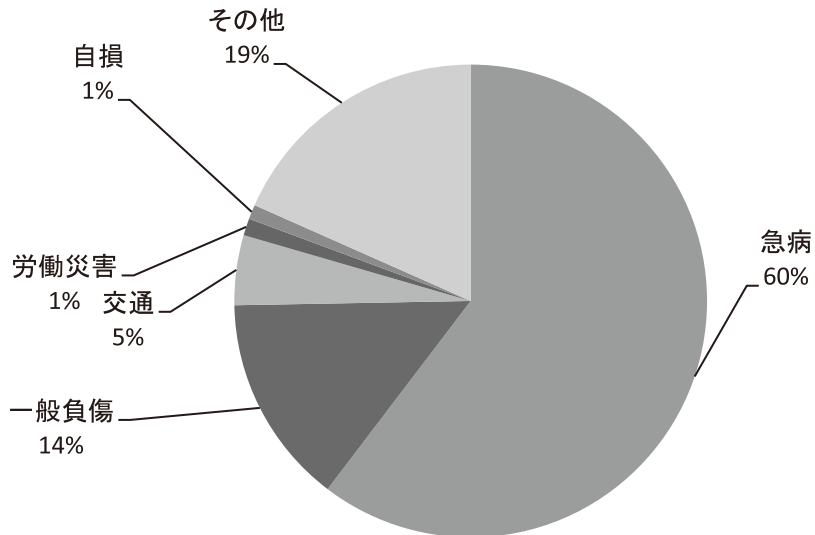
月別	種別 区分	種別 計	事故内容													
			火災	自然	水難	交通	労働	運動	一般	加害	自損	急病	その他			
													転院	医師	資材	その他
1	出動件数	527	1	0	1	24	6	1	81	0	2	315	91	0	0	5
	搬送件数	502	0	0	1	22	6	1	80	0	0	299	91	0	0	2
	搬送人員	506	0	0	1	24	6	1	81	0	0	300	91	0	0	2
2	出動件数	436	2	0	0	11	4	1	69	1	4	256	77	0	0	11
	搬送件数	408	0	0	0	10	4	1	66	1	2	239	77	0	0	8
	搬送人員	408	0	0	0	10	4	1	66	1	2	239	77	0	0	8
3	出動件数	441	1	0	0	17	1	0	68	4	6	277	60	0	0	7
	搬送件数	423	0	0	0	14	1	0	67	3	5	268	60	0	0	5
	搬送人員	424	0	0	0	15	1	0	67	3	5	268	60	0	0	5
4	出動件数	469	3	0	0	22	4	4	67	2	7	278	76	0	0	6
	搬送件数	436	0	0	0	21	4	4	65	2	3	259	76	0	0	2
	搬送人員	443	0	0	0	28	4	4	65	2	3	259	76	0	0	2
5	出動件数	469	2	0	1	23	5	5	59	2	5	295	59	0	0	13
	搬送件数	436	0	0	1	20	5	4	56	2	5	274	59	0	0	10
	搬送人員	436	0	0	1	20	5	4	56	2	5	274	59	0	0	10
6	出動件数	459	1	0	3	23	9	0	76	2	6	274	60	0	0	5
	搬送件数	423	0	0	1	22	9	0	71	1	4	253	60	0	0	2
	搬送人員	427	0	0	1	26	9		71	1	4	253	60	0	0	2
7	出動件数	561	2	0	0	21	9	5	74	3	8	337	72	0	0	30
	搬送件数	521	0	0	0	19	9	5	73	3	7	314	72	0	0	19
	搬送人員	525	0	0	0	21	9	5	74	3	7	315	72	0	0	19
8	出動件数	636	1	0	0	26	8	4	94	1	4	393	60	0	0	45
	搬送件数	554	0	0	0	23	8	4	86	1	3	348	60	0	0	21
	搬送人員	554	0	0	0	23	8	4	86	1	3	348	60	0	0	21
9	出動件数	550	1	0	0	27	8	8	65	2	3	337	70	0	0	29
	搬送件数	496	0	0	0	26	8	8	62	1	3	303	70	0	0	15
	搬送人員	496	0	0	0	26	8	8	62	1	3	303	70	0	0	15
10	出動件数	514	0	0	0	30	10	4	85	0	4	309	66	0	0	6
	搬送件数	489	0	0	0	28	10	4	84	0	2	291	66	0	0	4
	搬送人員	493	0	0	0	32	10	4	84	0	2	291	66	0	0	4
11	出動件数	551	2	0	0	46	5	3	72	2	7	305	97	0	0	12
	搬送件数	506	0	0	0	43	5	3	67	2	5	276	97	0	0	8
	搬送人員	509	0	0	0	46	5	3	67	2	5	276	97	0	0	8
12	出動件数	662	3	0	0	30	4	2	91	3	6	411	74	0	0	38
	搬送件数	603	0	0	0	29	4	2	85	3	2	376	74	0	0	28
	搬送人員	603	0	0	0	29	4	2	85	3	2	376	74	0	0	28
計	出動件数	6,275	19	0	5	300	73	37	901	22	62	3,787	862	0	0	207
	搬送件数	5,797	0	0	3	277	73	36	862	19	41	3,500	862	0	0	124
	搬送人員	5,824	0	0	3	300	73	36	864	19	41	3,502	862	0	0	124
昨年 同期	出動件数	5,252	29	1	7	309	67	19	792	10	43	3,135	789	1	0	50
	搬送件数	4,940	4	0	5	293	67	19	758	9	27	2,949	789	0	0	20
	搬送人員	4,962	4	0	5	312	67	19	760	9	27	2,950	789	0	0	20
昨年 比較	出動件数	1,023	△ 10	△ 1	△ 2	△ 9	6	18	109	12	19	652	73	△ 1	0	157
	搬送件数	857	△ 4	0	△ 2	△ 16	6	17	104	10	14	551	73	0	0	104
	搬送人員	862	△ 4	0	△ 2	△ 12	6	17	104	10	14	552	73	0	0	104

概要
総務
火災
予防
警防
通信・指令
救助
救急
応援協定
消防団
防火協力団体

出動件数の推移



事故種別による出動割合

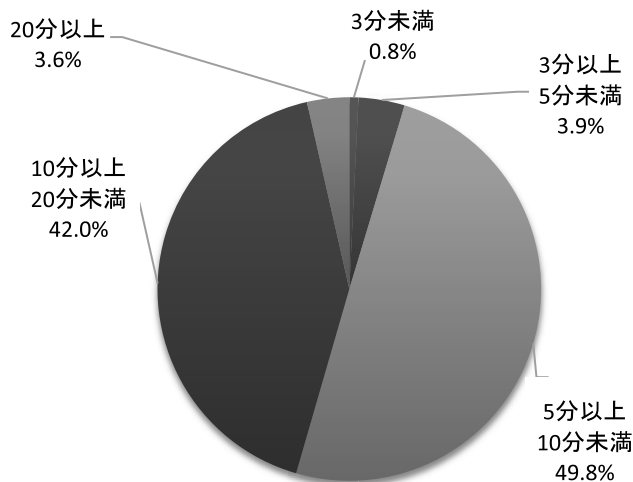


※その他(19%)のうち、転院搬送13%(医療機関から医療機関までの搬送)

出動から現場到着までの所要時間と出動件数

令和4年中

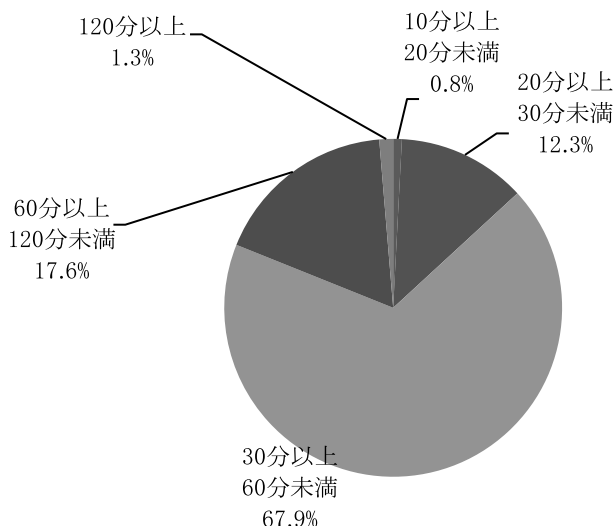
3分未満	48 件
3分以上5分未満	244 件
5分以上10分未満	3,126 件
10分以上20分未満	2,634 件
20分以上	223 件
合計	6,275 件
最短到着時間	0 分
最長到着時間	111 分



出動から医療機関収容までの所要時間と搬送人数

令和4年中

10分未満	0 人
10分以上20分未満	48 人
20分以上30分未満	718 人
30分以上60分未満	3,956 人
60分以上120分未満	1,025 人
120分以上	77 人
合計	5,824 人
最短収容時間	14 分
最長収容時間	312 分



救急講習件数・受講人員

令和4年中

講習名	受講団体等		一般市民 (自主防災会含む)		各種団体 (各種学校等)		事業所		総数	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
一般救急講習	1	130	31	612	6	110	38	852		
普通救命講習	3	33	6	40	14	94	23	167		

応急処置別 事故種別実施数

令和4年中

処置別		種別	急病	交通事故	一般負傷	左記以外	合計
止血			30	41	166	37	274
固定			16	155	145	70	386
人工呼吸			28		5	5	38
心臓マッサージ			22	1	2	6	31
心肺蘇生			149	1	25	7	182
酸素吸入			889	24	77	310	1,300
気道確保	※総数		203	1	33	16	253
	※1		5				5
	※2		1		6		7
	※3		51		6	1	58
	※4		5		2		7
保温			1,416	73	309	446	2,244
被覆			32	60	239	49	380
在宅療法継続	総数		83		6	6	95
	※A					2	2
	※B		5		2	1	8
	※C		78		4	3	85
ショックパンツ							0
除細動			12		2	2	16
静脈路確保	CPA前		40				40
	CPA後		67		12	4	83
薬剤投与			65		11	4	80
その他の処置			3,493	294	856	1,148	5,791
血圧測定			3,309	292	818	1,116	5,535
心音・呼吸音等の聴診			323	32	32	69	456
血中酸素飽和度の測定			3,463	296	857	1,155	5,771
心電図			2,999	144	480	805	4,428
血糖測定			72			4	76
エピペン投与			1		1		2
ブドウ糖投与			22				22
計			16,734	1,414	4,076	5,259	27,483

※総数・・・下記※1～※4を含め、用手、吸引等による気道確保数を計上。

※1 経鼻エアウェイ、経口エアウェイ

※2 喉頭鏡・鉗子使用

※3 LM等

※4 気管挿管

※A 在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対して応急処置等を行った件数を内数として記載

※B 気管切開孔又は気管瘻・人工肛門等の外瘻が施されている傷病者に対して応急処置を行った件数を内数として記載

※C ※A・※B以外の在宅療法継続中の傷病者に対して応急処置を行った件数を内数として記載

覚知時間別 事故種別出動回数

令和4年中

種別 時刻	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	医師 搬送	資機 材等	その他	合計
00 時台				3	1		13	2		82	11			6	118
01 時台				2	1		9	1	3	82	6			7	111
02 時台	3				1		6	1	1	65	5			4	86
03 時台	1			4			5	1		59	6			5	81
04 時台				1			14		1	76	7			4	103
05 時台	1			6			13		1	95	10			3	129
06 時台				6			15	2	2	137	10			2	174
07 時台			1	27	1		48	1	4	186	8			10	286
08 時台	1		1	23	6	2	71	2	2	273	22			13	416
09 時台	1			13	12	1	71		2	244	73			10	427
10 時台	2			27	7	4	59		1	238	96			6	440
11 時台	2		1	18	4	5	58	1	1	210	93			6	399
12 時台	1			22	7	6	79	1	5	224	84			10	439
13 時台	2			13	12	4	60	2	4	185	58			22	362
14 時台				16	8	4	51	1	1	173	39			8	301
15 時台	2		1	29	4	4	54	1	5	189	54			15	358
16 時台			1	23	6	2	49	2	4	176	87			8	358
17 時台				20	2	1	57		4	207	44			12	347
18 時台	1			14		2	48	2	5	218	36			11	337
19 時台				11		2	38		4	169	17			13	254
20 時台				8			28	1	6	160	30			6	239
21 時台				7			25		3	135	22			12	204
22 時台				5			16		3	123	24			5	176
23 時台	2			2	1		14	1		81	20			9	130
合 計	19	0	5	300	73	37	901	22	62	3,787	862	0	0	207	6,275

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体

曜日別救急出動件数

令和4年中

種別 曜日別	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	医師 搬送	資機 材等	その他	合計
月			1	35	9	5	150	3	8	594	137			36	978
火	4			54	12	9	113	3	7	530	148			33	913
水	5			46	14	7	122	6	4	531	135			34	904
木				49	18	3	108		17	529	113			34	871
金	2		1	43	9	5	123	5	9	537	139			16	889
土	7		2	45	10	4	136	3	6	553	100			28	894
日	1		1	28	1	4	149	2	11	513	90			26	826
合計	19	0	5	300	73	37	901	22	62	3,787	862	0	0	207	6,275

月別救急出動件数

令和4年中

種別 月別	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	医師 搬送	資機 材等	その他	合計
1	1		1	24	6	1	81		2	315	91			5	527
2	2			11	4	1	69	1	4	256	77			11	436
3	1			17	1		68	4	6	277	60			7	441
4	3			22	4	4	67	2	7	278	76			6	469
5	2		1	23	5	5	59	2	5	295	59			13	469
6	1		3	23	9		76	2	6	274	60			5	459
7	2			21	9	5	74	3	8	337	72			30	561
8	1			26	8	4	94	1	4	393	60			45	636
9	1			27	8	8	65	2	3	337	70			29	550
10				30	10	4	85		4	309	66			6	514
11	2			46	5	3	72	2	7	305	97			12	551
12	3			30	4	2	91	3	6	411	74			38	662
合計	19	0	5	300	73	37	901	22	62	3,787	862	0	0	207	6,275

救急関係資器材の配置状況

令和5年4月1日現在

資器材名		所属配置	中央消防署			西消防署			予備車	合計
			中央	芝川	東	西	北	上野		
救急救命 土用器材	半自動除細動器		1	1	1	1	1	1	7	
	全自動除細動器		4	2	2	3	2	2	15	
	ビデオ喉頭鏡		1	1	1	2	1	2	9	
	特定行為用資器材バック		1	1	1	1	1	1	7	
救命処置資器材	患者監視モニター		1	1	1	1	1	1	7	
	自動心マッサージ器		1	1	1	1	1	1	7	
	自動人工呼吸器		1	1	1	1	1	1	7	
	血糖値測定器		1	1	1	1	1	1	7	
	聴診器		1	2	2	2	1	2	11	
	血圧計		2	1	2	2	1	1	10	
	吸引器		2	2	2	1	1	1	10	
搬送器具	メインストレッチャー		1	1	1	1	1	1	7	
	スクープストレッチャー		5	1	2	3	1	2	15	
	感染症患者搬送装置		2	1	1	1	1	1	7	
一般救急用器材	酸素吸入蘇生装置		1	1	1	1	1	1	7	
	手動式人工呼吸器		1	1	2	1	1	1	8	
	心肺蘇生用背板		1	1	1	1	1	1	7	
	骨折等固定用具		1	1	1	1	1	1	7	
	リングカッター		3	1	1	1	1	1	9	
	分娩セット		1	1	1	1	1	1	7	
	バックボード		6	3	4	4	4	3	25	
	脊椎固定器具			2	1	1	1		5	
破器具	万能斧		1	1	1	1	1	1	7	
	金てこ(ボール)		1	1	1	1	1	1	7	
殺菌用器材	クリーンライザー			1	1	1			3	
	車内殺菌装置		1	1				1	3	
	滅菌器		1	1	1	1	1		5	
	滅菌包装器		1	1	2	2	1	1	8	
	消毒器		1	1	1	1	1	1	6	
教育用器材	心肺蘇生訓練用人形(成人)		5	3	3	4	3	3	21	
	心肺蘇生訓練用人形(ジュニア)		1			1			2	
	心肺蘇生訓練用人形(ベビー)		1	1	1	1	1	1	6	
	気道管理トレーナー				1		1	1	3	
	アンプ挿管トレーナー		1			1			2	
	静脈採血モデル		1			1	1	1	4	
	分娩介助モデル		1			1			2	
	高度救命訓練用人形		1						1	
	高度救命処置シュミレーター			1	1	1	1		4	
	救急関係DVD		2	1	1	1	1	1	7	
訓練用AED		4	3	3	5	3	5	23		
通信器材	車載用携帯電話		1	1	1	1	1	1	7	
その他	テロ対策用防毒マスク		3	3	3	3			12	
	トリアージシート		3	3	3	3	1	2	15	

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体

応援協定



第6回緊急消防援助隊全国合同訓練
(宿営訓練 外神スポーツ広場)

1. 消防相互応援協定

各市町村個々の消防力の限界を超える大規模災害及び救急重大事故等に対処するため、消防組織法に基づき次のとおり消防相互応援協定を締結している。

協定名	締結年月日	協定種別	協定締結消防機関等
静岡県消防相互応援協定	平成29年3月10日 再締結	全ての災害	県 下 全 市 町
富士市・富士宮市 消防相互応援協定	平成27年8月17日 再締結	全ての災害	富士市消防本部
富士宮市と静岡市における 消防相互応援に関する協定	平成29年3月22日	全ての災害	静岡市消防局
富士宮市・峡南広域行政組合の消防管 轄区域における相互応援に関する協定	令和元年10月 1日	全ての災害	峡南広域行政組合消防本部
富士宮市・富士五湖広域行政 事務組合消防相互応援協定	平成28年8月26日	全ての災害	富士五湖広域行政事務組合富士五湖消防本部
新東名高速道路における 消防相互応援に関する協定	平成24年4月14日	全ての災害	富士市消防本部 静岡市消防局

2. 消防相互応援協定覚書

締結名	締結年月日	締結消防機関等
静岡県消防相互応援協定に基づく覚書	平成29年3月10日	県 下 全 市 町
富士市・富士宮市消防相互応援協定に基づく覚書	平成27年8月17日	富士市消防本部
富士宮市と静岡市における消防相互応援の細目 に関する覚書	平成29年3月22日	静岡市消防局
富士宮市・峡南広域行政組合の消防管轄区域にお ける相互応援の細目に関する覚書	令和元年10月 1日	峡南広域行政組合消防本部
富士宮市・富士五湖広域行政事務組合消防相互 応援協定に伴う覚書	平成28年8月26日	富士五湖広域行政事務組合富士五湖消防本部
新東名高速道路における消防相互応援に関する 覚書	平成24年4月14日	富士市消防本部 静岡市消防局

3. その他の協定

協定名	締結年月日	協定種別	協定締結機関等
静岡県防災ヘリコプター応援協定	平成29年3月23日	全ての災害	静岡県
ガス爆発事故等防止対策 に関する協定書	平成28年9月14日 再締結	ガス漏れ事故 ガス爆発事故等	富士宮警察署 静岡ガス(株)東部導管ネットワークセンター 静岡県LPガス協会富士宮地区会 東京電力パワーグリッド(株)富士支社 中部電力(株)清水営業所
静岡県立総合病院の所有する ドクターカーの運用に関する協定	平成28年2月9日	救急事案	静岡県立総合病院
緊急消防援助隊受援計画に基づく 施設利用に関する協定書	平成29年1月18日	災害時施設利用	宗 教 法 人 大 石 寺

消防団



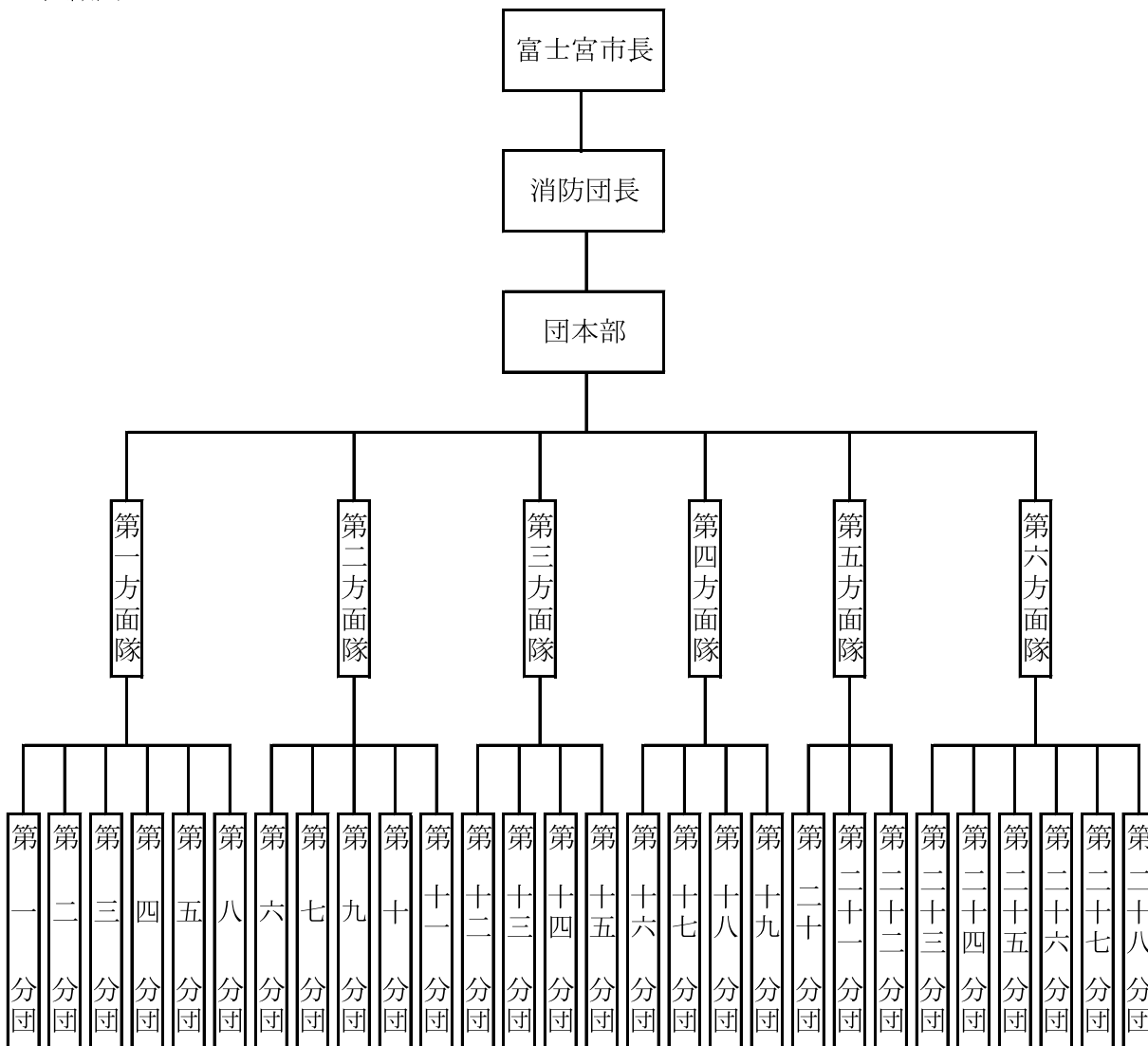
富士宮市消防本部との合同訓練

開催場所:朝霧自然公園(朝霧アリーナ)

消防団は、地域の安心安全の中核的な担い手として、住民の生命、身体、財産を災害から守るという強い使命に燃え、勇敢かつ献身的に日々活動を行っています。また、今日発生する災害も社会構造や地球環境の変化、生活様式の多様化等により複雑化・特異化する傾向にあります。このような中で発生する災害に即応できるように組織を編成し効率化を図っています。

富士宮市消防団

組織図



消防団の定員及び実員

令和5年4月1日現在

区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員 (うち機能別団員)	合計
定員及び基準数	1	4	45	49	78	159	404 (60)	740
実員	1	4	50	48	79	147	339 (39)	668

歴代消防団長

富士宮市消防団

芝川町消防団

代	氏名	在任期間	代	氏名	在任期間
初代	市ノ瀬 康一	自 S22. 11. 1 至 S24. 3. 31	初代	後藤 勇	自 S32. 4. 1 至 S33. 12. 14
2代	角谷 憲	自 S24. 4. 1 至 S30. 3. 31	2代	風岡 一雄	自 S33. 12. 15 至 S36. 3. 31
3代	後藤 忠雄	自 S30. 4. 1 至 S46. 11. 30	3代	金子 兼治	自 S36. 4. 1 至 S38. 12. 31
4代	佐野 誠一	自 S46. 12. 1 至 S48. 12. 19	4代	風岡 栄	自 S39. 1. 1 至 S41. 12. 14
5代	寺田 銀蔵	自 S48. 12. 20 至 S57. 3. 31	5代	小泉 重利	自 S41. 12. 15 至 S44. 12. 14
6代	小笠原 登	自 S57. 4. 1 至 S61. 3. 10	6代	佐野 卓次郎	自 S44. 12. 15 至 S47. 2. 9
7代	保坂 亨	自 S61. 4. 1 至 H 4. 3. 31	7代	大内 幸雄	自 S47. 2. 10 至 S58. 12. 14
8代	塩川 金次郎	自 H 4. 4. 1 至 H 7. 3. 31	8代	宇佐美 章	自 S58. 12. 15 至 S61. 12. 14
9代	清 功	自 H 7. 4. 1 至 H15. 3. 31	9代	佐野 覚	自 S61. 12. 15 至 H 6. 3. 31
10代	佐野 公康	自 H15. 4. 1 至 H16. 3. 31	10代	望月 克己	自 H 6. 4. 1 至 H10. 3. 31
11代	佐野 貞男	自 H16. 4. 1 至 H20. 3. 31	11代	森 威多留	自 H10. 4. 1 至 H14. 3. 31
12代	佐野 禎彦	自 H20. 4. 1 至 H24. 3. 31	12代	渡邊 三千代	自 H14. 4. 1 至 H17. 3. 31
			13代	萩原 直樹	自 H17. 4. 1 至 H20. 3. 31
			14代	佐野 忠義	自 H20. 4. 1 至 H22. 3. 23

※平成22年3月23日 芝川町は、富士宮市に編入合併

富士宮市消防団

代	氏名	在任期間
12代	佐野 禎彦	自 H20. 4. 1 至 H24. 3. 31
13代	石川 英典	自 H24. 4. 1 至 H25. 3. 31
14代	清 厚博	自 H25. 4. 1 至 H28. 3. 31
15代	植松 昌裕	自 H28. 4. 1 至 H30. 3. 31
16代	佐野 泰信	自 H30. 4. 1 至 R 2. 3. 31
17代	風間 友明	自 R 2. 4. 1 至 現在

消防団員配置状況(実員数)

令和5年4月1日現在

		団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	機能別団員	計
団 本 部		1	4	22			1	7		35
第 1 方面隊	第 1 分 団			1	1	2	3		1	8
	第 2 分 団			1	1	2	4	8	2	18
	第 3 分 団			1	1	2	4	7	3	18
	第 4 分 団			1	1	2	4	7	1	16
	第 5 分 団			1	1	2	4	6	1	15
	第 8 分 団			1	1	2	4	5	3	16
第 2 方面隊	第 6 分 団			1	3	6	12	10	2	34
	第 7 分 団			1	1	2	2	3		9
	第 9 分 団			1	1	2	3	5		12
	第 10 分 団			1	2	2	3	2	3	13
	第 11 分 団			1	2	5	8	6	1	23
第 3 方面隊	第 12 分 団			1	2	4	5	6		18
	第 13 分 団			1	1	2	4	1		9
	第 14 分 団			1	2	4	8	5	1	21
	第 15 分 団			1	3	4	9	18	3	38
第 4 方面隊	第 16 分 団			1	2	2	4	20	2	31
	第 17 分 団			1	3	3	7	26	2	42
	第 18 分 団			1	2	2	5	10	2	22
	第 19 分 団			1	3	3	6	15	2	30
第 5 方面隊	第 20 分 団			1	3	4	7	16	2	33
	第 21 分 団			1	3	5	10	24	2	45
	第 22 分 団			1	3	5	6	13	2	30
第 6 方面隊	第 23 分 団			1	1	2	4	19		27
	第 24 分 団			1	1	2	4	4	2	14
	第 25 分 団			1	1	2	4	18		26
	第 26 分 団			1	1	2	4	12		20
	第 27 分 団			1	1	2	4	12		20
	第 28 分 団			1	1	2	4	15	2	25
合 計		1	4	50	48	79	147	300	39	668

概 要

総 務

火 災

予 防

警 防

通 信・指 令

救 助

救 急

応 援 協 定

消 防 団

防 火 協 力 団 体

年度別消防団員入団及び退団の推移

令和5年3月31日現在

年度	定員	実員	入団	退団		退 団 者 内 訳						
				年度末	途中	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
H18	650	615	53	44				8	6	4	9	17
H19	650	611	36	44		1		11	3	3	6	20
H20	650	601	35	46				6	7	1	6	26
※H21	810	751	40	84		1	2	19	7	8	12	35
H22	810	744	53	55	3			6	7	7	9	27
H23	810	743	56	68	2	1	1	16	3	9	12	28
H24	810	721	49	38	3	1		6	3	6	9	16
H25	810	715	35	39	3			9	4	3	7	19
H26	810	727	55	36	4			4	4	4	9	19
H27	810	740	53	56	4	1	1	8	6	3	10	31
H28	810	733	53	60	4		1	3	2	5	9	44
H29	810	705	36	50	4	1		12	4	5	5	27
H30	810	696	42	38	1			2	1	5	9	22
R1	810	697	43	54	4	1	1	13	2	3	5	33
R2	810	666	26	30	3			4	2	3	3	21
R3	810	659	26	44	3			4	5	6	6	26
R4	740	679	69	35	5			4	2	4	6	25

【平成22年3月23日 芝川町消防団と統合】

【実員については、3月31日付退団者は含まない。】

消防団員階級別年齢

令和5年4月1日現在

階級 \ 年齢	18	20	25	30	35	40	45	50	55	60	計
	 19	 24	 29	 34	 39	 44	 49	 54	 59	以上	
団 長										1	1
副 団 長									2	2	4
分 団 長						4	19	9	11	7	50
副分団長					2	10	20	8	6	2	48
部 長				3	12	26	25	11	2		79
班 長			7	10	25	48	32	16	7	2	147
団 員		12	24	46	48	61	67	48	19	14	339
合 計	0	12	31	59	87	149	163	92	47	28	668

消防団員階級別在職年数

令和5年4月1日現在

階級 \ 年数	5年	5年以上	10年以上	15年以上	20年以上	25年以上	30年	計
	未 満	10年未 満	15年未 満	20年未 満	25年未 満	30年未 満	以 上	
団 長							1	1
副 団 長							4	4
分 団 長			2	6	23	15	4	50
副分団長			4	26	13	3	2	48
部 長		4	30	31	11	3		79
班 長	6	46	59	21	12	1	2	147
団 員	123	86	43	32	37	14	4	339
合 計	129	136	138	116	96	36	17	668

概
要

総
務

火
災

予
防

警
防

通
信・指
令

救
助

救
急

応
援協
定

消
防団

防
火協
力団
体

消防団消防車両配置状況

令和5年4月1日現在

- | | | | |
|---------------|------|-----------------------|-----|
| ① マイクロバス | 1 台 | ② 水槽付消防ポンプ自動車 | 8 台 |
| ③ 普通消防ポンプ自動車 | 26 台 | ④ 小型動力ポンプ付積載車(軽四輪) | 2 台 |
| ⑤ 小型動力ポンプ付積載車 | 4 台 | ⑥ 資機材搬送車(軽4WDトラックタイプ) | 4 台 |
| ⑦ 小型動力ポンプ | 47 台 | | |

(B-2級 1台・B-3級 9台・C-1級 34台)

分 団	配置場所	登 録 番 号	車 名	ポンプ性能	購入年月	製作会社	備 考
団本部	弓 沢 町	富士山240さ223	日 産		H18. 1		マ イ ク ロ バ ス
				B 3 級	H21. 8	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ (訓 練 用)
				B 2 級	H28. 3	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ (訓 練 用)
第1分団	中 央 町	富士山804ひ1	いすゞ	A 2 級	R5. 3	ジ-エムいちほら	普 通 消 防 ポ ン プ 自 動 車
				C 1 級	H16. 10	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
第2分団	元 城 町	富士山840に2	いすゞ	A 2 級	R3. 3	島山ポンプ	普 通 消 防 ポ ン プ 自 動 車
				C 1 級	H12. 7	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
第3分団	宮 町	富士山840せ3	いすゞ	A 2 級	H16. 1	日本ドライ	普 通 消 防 ポ ン プ 自 動 車 (4WD)
				C 1 級	H11. 3	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
第4分団	西 町	富士山840そ4	いすゞ	A 2 級	H29. 12	ジ-エムいちほら	普 通 消 防 ポ ン プ 自 動 車 (4WD)
				C 1 級	H13. 8	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
第5分団	弓 沢 町	富士山840す5	いすゞ	A 2 級	H18. 2	ジ-エムいちほら	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車
				C 1 級	H19. 10	マキタ沼津	小 型 動 力 ポ ン プ
第6分団	淀 師	富士山840す6	いすゞ	A 2 級	H21. 2	ジ-エムいちほら	普 通 消 防 ポ ン プ 自 動 車 (4WD)
				C 1 級	H 6. 12	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
	青 木	富士山840て6	いすゞ	A 2 級	H24. 1	日本ドライ	普 通 消 防 ポ ン プ 自 動 車 (4WD)
				C 1 級	H10. 2	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
	外 神	富士山840ね6	いすゞ	A 2 級	H28. 3	島山ポンプ	普 通 消 防 ポ ン プ 自 動 車 (4WD)
				C 1 級	H26. 10	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
第7分団	大 中 里	富士山803な7	いすゞ	A 2 級	R2. 3	日本ドライ	普 通 消 防 ポ ン プ 自 動 車
				C 1 級	H24. 11	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
第8分団	万 野 原	富士山803た8	いすゞ	A 2 級	H17. 2	日本ドライ	普 通 消 防 ポ ン プ 自 動 車 (4WD)
	新 田			C 1 級	H31. 1	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ

分 団	配置場所	登録番号	車 名	ポンプ性能	購入年月	製作会社	備 考
第9分団	野 中	富士山840せ9	いすゞ	A 2級	H23. 1	ジー・エムいちほら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1級	H17.10	富士ロビン	小型動力ポンプ
第10分団	安 居 山	富士山840せ119	いすゞ	A 2級	H16.11	モリタ	水槽付消防ポンプ自動車
				C 1級	H28. 3	トーハツ	小型動力ポンプ
	沼久保	富士山840ち10	いすゞ	B 3級	H26. 2	旭産業	小型動力ポンプ付積載車(4WD) (ト ー ハ ッ)
第11分団	黒 田	富士山840ね11	いすゞ	A 2級	H29. 1	ジー・エムいちほら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1級	H29. 1	トーハツ	小型動力ポンプ
	星 山	富士山840す11	いすゞ	A 2級	H21. 2	ジー・エムいちほら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1級	H 9. 2	富士ロビン	小型動力ポンプ
	貫 戸	富士山881あ21	スバル	B 3級	H21. 2	マキタ沼津	小型動力ポンプ付積載車(軽四輪)
第12分団	小 泉	富士山840て12	いすゞ	A 2級	R5.2	小川ポンプ	水槽付消防ポンプ自動車
				C 1級	H26.10	トーハツ	小型動力ポンプ
	山 本	富士山840つ12	いすゞ	A 2級	R4. 1	日本ドライ	水槽付消防ポンプ自動車
				C 1級	H29. 1	トーハツ	小型動力ポンプ
第13分団	杉 田	富士山840す13	いすゞ	A 2級	H18. 2	日本ドライ	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1級	H 2. 1	富士ロビン	小型動力ポンプ
第14分団	小 泉	富士山840そ14	いすゞ	A 2級	H26.11	モリタ	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1級	H23. 1	マキタ沼津	小型動力ポンプ
	大 岩	富士山840せ14	いすゞ	A 2級	H23. 1	ジー・エムいちほら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1級	R1.12	トーハツ	小型動力ポンプ
第15分団	神 成	富士山840ぬ15	いすゞ	A 2級	H29.12	ジー・エムいちほら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1級	H14. 9	富士ロビン	小型動力ポンプ
	二 又	富士山840せ15	いすゞ	A 2級	H20. 2	日本ドライ	普通消防ポンプ自動車
				C 1級	H 2. 1	富士ロビン	小型動力ポンプ
	村 山	富士山840に15	いすゞ	B 3級	H28. 3	畠山ポンプ	小型動力ポンプ付積載車(4WD) (ト ー ハ ッ)
第16分団	山 宮	富士山803さ366	いすゞ	A 2級	H20. 2	日本ドライ	普通消防ポンプ自動車
				C 1級	H25.12	トーハツ	小型動力ポンプ

概要
総務
火災
予防
警戒
通信・指令
救助
救急
応援協定
消防団
防火協力団体

分 団	配置場所	登 録 番 号	車 名	ポンプ性能	購入年月	製作会社	備 考
第17分団	上 組	富士山840せ17	いすゞ	A 2 級	H24. 1	日本ドライ	普通消防ポンプ自動車(4WD)
		富士山 488 ほ 17	スズキ		R5. 3	峰自動車	資 機 材 搬 送 車 (軽 4 W Dトラックタイプ)
				C 1 級	S62. 12	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
第18分団	上 条	富士山840せ18	いすゞ	A 2 級	H25. 1	ジー・エムいちほら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H31. 1	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
		富士山488ね18	スズキ		R2. 1	峰自動車	資 機 材 搬 送 車 (軽 4 W Dトラックタイプ)
第19分団	下 条	富士山840た19	いすゞ	A 2 級	H31. 2	日本ドライ	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車
		富 士 山 481 か 568	スズキ		H31. 2	峰自動車	資 機 材 搬 送 車 (軽 4 W Dトラックタイプ)
				C 1 級	H31. 1	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
	妙 蓮 寺	富士山840せ19	いすゞ	B 3 級	H26. 2	旭産業	小型動力ポンプ付積載車(4WD) (ト ー ハ ツ)
第20分団	上 井 出	富士山 840 そ 20	いすゞ	A 2 級	H29. 1	ジー・エムいちほら	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車 (4WD)
				C 1 級	H12. 2	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
	東			B 3 級	H12. 7	富士ロビン	小型動力ポンプ (台車付)
	芝 山			B 3 級	H18. 11	富士ロビン	小型動力ポンプ (台車付)
	人 穴	富士山803さ368	いすゞ	B 3 級	H16. 2	日本ドライ	小型動力ポンプ付積載車 (富 士 ロ ビ ン)
第21分団	猪 之 頭	富士山840す21	いすゞ	A 2 級	H22. 2	ジー・エムいちほら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
		富士山488た21	スズキ		R4. 3	峰自動車	資 機 材 搬 送 車 (軽 4 W Dトラックタイプ)
				C 1 級	R1. 12	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
	富 士 丘			B 3 級	H26. 10	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
	麓	富士山 888 あ 21	ダイハツ	B 2 級	H29. 1	トーハツ	小型動力ポンプ付積載車(軽四輪)
第22分団	原	富士山840せ22	いすゞ	A 2 級	H22. 2	ジー・エムいちほら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H15. 9	富士ロビン	小 型 動 力 ポ ン プ
	川 久 保			B 3 級	H 9. 2	富士ロビン	小型動力ポンプ (台車付)
	足 形			B 3 級	H10. 2	富士ロビン	小型動力ポンプ (台車付)
	横 手 沢			B 3 級	S55. 8	富士ロビン	小型動力ポンプ (台車付)
	狩 宿			B 3 級	H11. 2	富士ロビン	小型動力ポンプ (台車付)
	半 野			B 3 級	H16. 10	富士ロビン	小型動力ポンプ (台車付)

分 団	配置場所	登 録 番 号	車 名	ポンプ 性 能	購入年月	製作会社	備 考
第23分団	下 柚 野	富士山840せ23	いすゞ	A 2 級	H15. 11	モリタ	普通消防ポンプ自動車
				C 1 級	H20. 12	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
第24分団	上 稲 子	富士山840ち24	いすゞ	A 2 級	H26. 11	モリタ	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H20. 12	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
第25分団	尾 崎	富士山840ち25	いすゞ	A 2 級	H21. 12	モリタ	普通消防ポンプ自動車
				C 1 級	H21. 11	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
第26分団	巡 沢	富士山840ち26	いすゞ	A 2 級	R4. 1	日本ドライ	水槽付消防ポンプ自動車
				C 1 級	H21. 11	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
第27分団	川 合	富士山840て27	いすゞ	A 2 級	R3. 3	小川ポンプ	水槽付消防ポンプ自動車
				C 1 級	H21. 11	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ
第28分団	西 山 下	富士山840た28	いすゞ	A 2 級	H25. 1	ジーエムいちはら	普通消防ポンプ自動車(4WD)
				C 1 級	H21. 11	トーハツ	小 型 動 力 ポ ン プ

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体

消 防 団 詰 所 一 覧 表

令和5年4月1日現在

分 団	建 築 物 用 途	構 造	階 数	建築面積 ㎡	延床面積 ㎡	敷地面積 ㎡	建築年月日	所 在 地
1	詰所兼車庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	51.4	102.8	164.15	H 9. 3	中央町9-10
2	詰所兼車庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	38.35	76.7	194.44	H 5. 12	元城町3-4
3	詰所兼車庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	55.15	102.8	327.47	H15. 8	宮町1-1
4	詰所兼車庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	32.61	68.77	51.94	S60. 3	西町10-6
5	詰所兼車庫	鉄 骨 造 鋼 板 葺	2	65	117	219.5	H17. 2	弓沢町137
6 (外神)	詰所兼車庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	38.4	76.8	132.08	H 7. 3	外神8-9
6 (淀師)	詰所兼車庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	51.4	102.8	182.22	H21. 2	淀平町50
6 (青木)	詰所兼車庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	51.4	102.8	330	H11. 3	青木1182-4
7	詰所兼車庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	38.4	76.8	293.61	H 7. 3	大中里438-14
8	詰所兼車庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	38.4	76.8	330	H 8. 3	万野原新田3287-11
9	詰所兼車庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	56.15	102.8	217.76	H18. 2	野中町608
10 (沼久保)	詰所兼車庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	32.1	64.2	321.89	H 6. 3	沼久保25-5
10 (安居山)	詰所兼車庫	鉄筋・鉄骨造カラーアルミ葺	2	65	117	201	H10. 3	安居山607-2
11 (貫戸)	詰所兼車庫	木 造 ト タ ン 葺	1	19.87	19.87	19.87	S56. 3	貫戸259-1
11 (黒田)	詰所兼車庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	33.34	65.22	85	S56. 3	黒田270-3
11 (星山)	詰所兼車庫	鉄 骨 造 シ ン グ ル 葺	2	51.40	101.94	327.37	H27. 3	星山126-1
12 (小泉)	詰所兼車庫	鉄 骨 造 鋼 板 葺	2	65	117	231	H13. 2	小泉539-1
12 (山本)	詰所兼車庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	38.7	77.4	333	H 2. 3	山本540-4
13	詰所兼車庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	56.15	102.8	294	H19. 3	杉田1230-6
14 (小泉)	詰所兼車庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	38.35	76.7	192.78	H 1. 3	小泉1864
14 (大岩)	詰所兼車庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	51.4	101.94	361.66	H25. 3	大岩1477-4
15 (村山)	詰所兼車庫	鉄 骨 造 折 板 葺	1	61.93	60.27	148.03	S57. 3	村山1242-3
15 (神成)	詰所兼車庫	鉄 骨 造 シ ン グ ル 葺	2	51.4	101.94	246.18	H29. 3	村山102-13
15 (二又)	詰所兼車庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	51.4	102.8	337.66	H23. 3	栗倉918-6
16	詰所兼車庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	41.3	77.63	163.15	S57. 6	山宮1591-3
17 (上組)	詰所兼車庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	60	120	178.24	S60. 3	北山1529-4
18	詰所兼車庫	鉄骨造カラーステンレス鋼板横葺	2	90.48	165.02	298.82	R3. 3	上条232-1
19 (下条)	詰所兼車庫	鉄骨造カラーステンレス鋼板横葺	2	90.48	165.02	338.57	H31. 2	下条139-1
19 (妙蓮寺)	詰所兼車庫	鉄 骨 造 折 板 葺	1	52.31	52.31	214.94	S56. 3	下条719

分 団	建 築 物 用 途	構 造	階 数	建築面積 ㎡	延床面積 ㎡	敷地面積 ㎡	建築年月日	所 在 地
20 (芝山)	機 具 置 場	木 造 ト タ ン 葺	1	19.87	19.87	19.87	S56. 3	上井出880-2
20 (東)	機 具 置 場	ブ ロ ッ ク 造 ト タ ン 葺	1	25.11	25.11	25.11	S50.	上井出2233-3
20 (人穴)	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 折 板 葺	1	52.3	52.3	190.05	S60. 11	人穴383-2
20 (上井出)	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	89.3	162.1	863.11	S59. 3	上井出603-1
21 (猪之頭)	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	73.22	146.44	304	S58. 3	猪之頭217-7
21 (麓)	詰 所 兼 車 庫	木 造 ト タ ン 葺	1	19.87	19.87		S60. 11	麓61
21 (富士丘)	機 具 置 場	ブ ロ ッ ク 造	1	6.3	6.3		S30. 頃	根原341-1
22 (内野・足形)	機 具 置 場	ブ ロ ッ ク 造	1	9.03	9.03		S43.	内野1030-5
22 (原)	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 折 板 葺	2	72.75	145.5	224.4	S63.	原1114-6
22 (狩宿)	機 具 置 場	ブ ロ ッ ク 造	1	6.12	6.12		S48. 11	狩宿78-4
22 (内野・横手沢)	機 具 置 場	ブ ロ ッ ク 造	1	9.76	9.76		S44. 4	内野22-1
22 (内野・川久保)	機 具 置 場	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造	1	6.3	6.3		H 9. 3	内野339
23 (柚野)	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 折 板 葺	1	76.58	76.58	387.48	H17. 12	下柚野336-1
24 (稲子)	詰 所 兼 車 庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	39.59	79.18	45.87	H13. 1	上稲子3850-8
25 (内房3・4区)	詰 所 兼 車 庫	鉄 骨 造 折 板 葺	1	77.4	77.4	245.48	S61. 1	内房3142-2
26 (内房1・2区)	詰 所 兼 車 庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	39.65	79.29	23	H10. 12	内房4058-4
27 (長貫・羽鮒)	詰 所 兼 車 庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	38.7	77.4	102.26	H17. 3	長貫1217-2
28 (西山・大久保)	詰 所 兼 車 庫	鉄骨造アスファルトシングル葺	2	38.7	77.4	131	H18. 2	西山1388-4

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

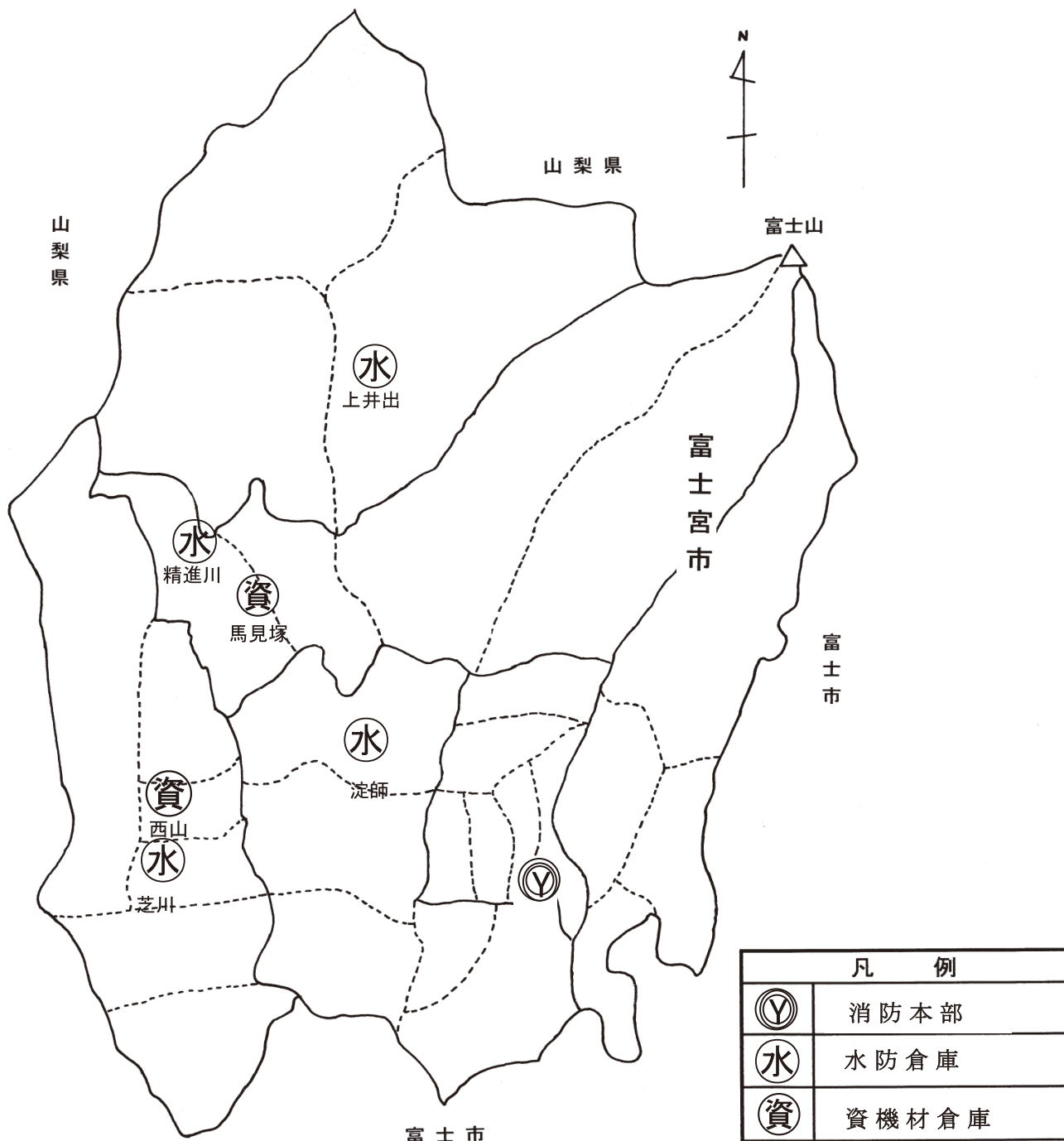
救急

応援協定

消防団

防火協力団体

水防倉庫・資機材倉庫配置図

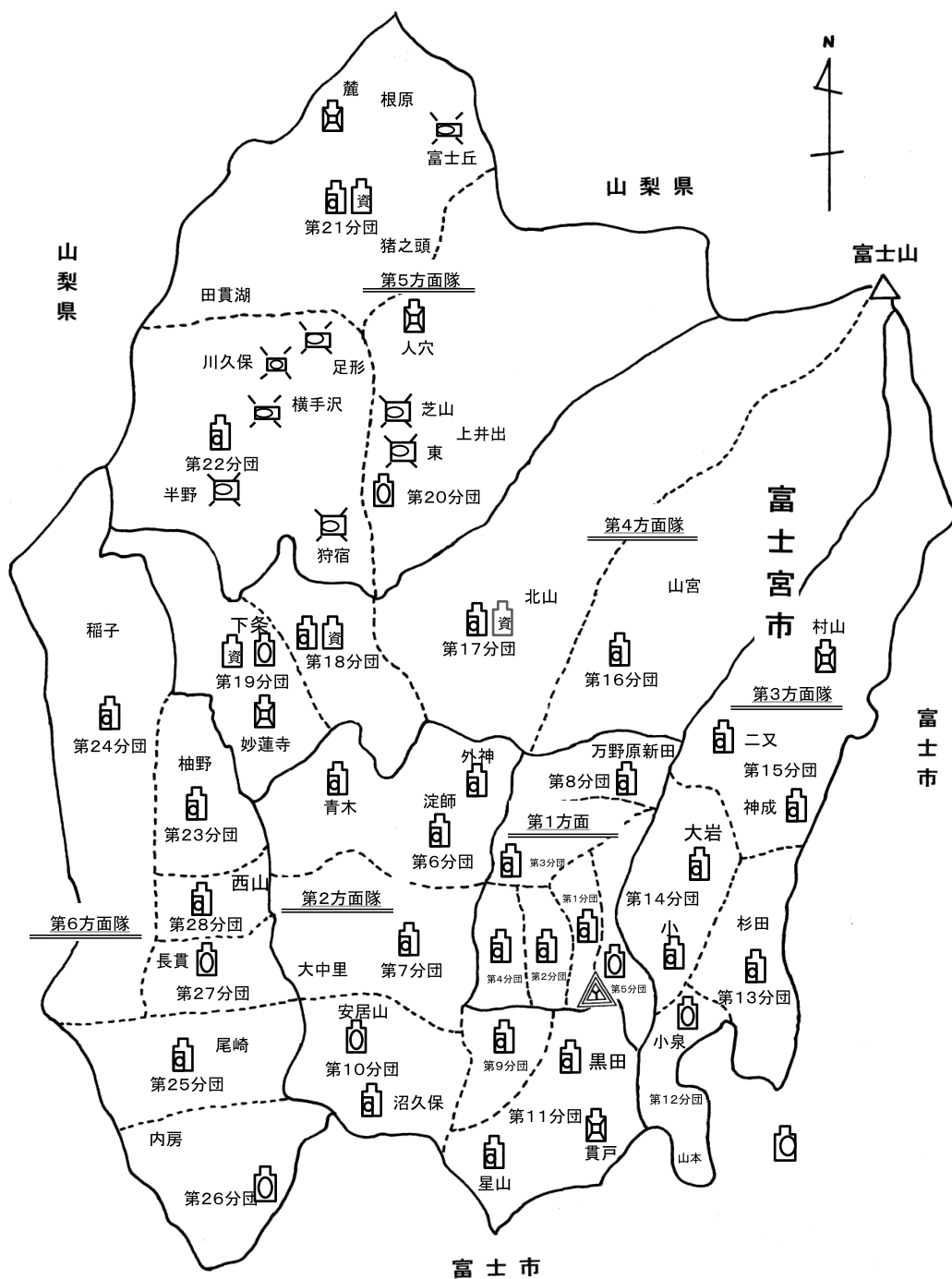


凡 例	
Ⓨ	消防本部
水	水防倉庫
資	資機材倉庫

水防倉庫・消防資機材倉庫一覧表

建物名称	構造	階数	延床面積	建築年月日	所在地
上井出水防倉庫	鉄骨造	1	16.52㎡	S59.3	上井出603-2
淀師水防倉庫	鉄骨造	1	95.30㎡	H2.3	穂波町4-11
精進川水防倉庫	鉄骨造	1	52.3㎡	S62.3	精進川419-2
芝川水防倉庫	鉄骨造	1	196.05㎡	H7.3	長貫753-1
馬見塚資機材倉庫	鉄骨造	1	52.3㎡	H4.3	馬見塚401-2
西山資機材倉庫	軽量鉄骨	1	14.00㎡	H12.9	西山895-1地先

消防団車両配置図



凡 例	
	消防団本部
	水槽付 消防ポンプ自動車
	消防ポンプ自動車 小型動力ポンプ搭載
	小型動力ポンプ付積載車
	資機材搬送車
	小型動力ポンプ(台車付)

概要
 総務
 火災
 予防
 警防
 通信・指令
 救助
 救急
 応援協定
 消防団
 防火協力団体

消防団協力事業所表示制度により、表示証の交付を受けた団体(一覧)

	交付事業所名	初回表示	有効期限		交付事業所名	初回表示	有効期限
1	株式会社 勝晃	H19.12	R7.3	35	安永左官工業	H29.5	R7.3
2	ジャトロ株式会社 富士宮地区	H19.12	R7.3	36	株式会社 アミノ	H29.8	R7.3
3	株式会社 アマダ	H19.12	R7.3	37	株式会社 寶屋	H30.5	R7.3
4	富士伊豆農業協同組合 富士宮地区本部	H19.12	R7.3	38	有限会社 坪井組	H30.6	R7.3
5	富士フィルム株式会社 富士宮工場	H19.12	R7.3	39	株式会社 藤弘工業	H30.7	R7.3
6	東亜富士巧業株式会社	H20.12	R7.3	40	たいよう接骨院	H30.10	R7.3
7	カナエ工業株式会社	H20.12	R7.3	41	株式会社 渡邊自動車商会	H30.11	R7.3
8	富士設計株式会社	H23. 2	R7.3	42	株式会社 東食品	H30.11	R7.3
9	株式会社 アリエ	H23. 2	R7.3	43	株式会社 新精工業	H31.3	R7.3
10	タマチ工業株式会社 西富士工場	H24. 5	R7.3	44	有限会社 日東工機	H31.4	R7.3
11	有限会社 後藤倉庫	H24.10	R7.3	45	株式会社 秀工務店	R1.7.12	R7.3
12	有限会社 小林造園	H24.12	R7.3	46	有限会社 スギヤマ製作	R1.7.12	R7.3
13	芝川塗装	H25. 2	R7.3	47	有限会社 エージェントうさみ	R1.9.18	R7.3
14	山本ゼーセル工業株式会社	H25. 2	R7.3	48	株式会社 ちゅら富士動物病院	R1.11.26	R7.3
15	富士宮通運株式会社	H25. 3	R7.3	49	周一級建築工事事務所富士宮事務所	R1.12.5	R7.3
16	かわむら呉服店	H25. 3	R7.3	50	ホシノ自動車整備工場	R2.3.31	R7.3
17	塗装工芸株式会社	H25. 9	R7.3	51	坂坂測量	R2.7.1	R7.3
18	株式会社アスティー	H25.12	R7.3	52	花の店フロリダ	R2.7.9	R7.3
19	有限会社 カーサポート	H27. 2	R7.3	53	有限会社 笹原自動車	R2.10.1	R7.3
20	株式会社 赤池商会	H27. 4	R7.3	54	セブンイレブン富士宮黒田店	R2.12.1	R7.3
21	株式会社 日之出商会	H27.12	R7.3	55	株式会社 エヌビー精密	R3.1.25	R7.3
22	有限会社 依田造園	H28. 2	R7.3	56	富士コンクリートサービス株式会社	R3.4.9	R7.3
23	風間建築	H28. 2	R7.3	57	株式会社 ランバーリング・カツマタ	R3.4.9	R7.3
24	株式会社 伊東建築	H28.4	R7.3	58	株式会社 江戸屋本店	R3.4.19	R7.3
25	宝造園	H28.5	R7.3	59	日本製パン株式会社 富士宮工場	R3.4.19	R7.3
26	インテリアシのはら	H28.5	R7.3	60	有限会社 小泉土建	3.5.13	R7.3
27	特定非営利活動法人くじら	H28.6	R7.3	61	有限会社 フジタ産業	R3.6.10	R7.3
28	大宮精機株式会社	H28.6	R7.3	62	株式会社 日誠電工	R3.6.28	R7.3
29	税理士法人 IBS	H28.8	R7.3	63	ユウアンドアイ	R4.2.22	R7.3
30	赤池造園株式会社	H28.8	R7.3	64	Apex株式会社	R4.3.14	R7.3
31	岡重株式会社	H28.11	R7.3	65	有限会社 大石	R4.5.19	R7.3
32	光陽建設株式会社	H29.1	R7.3	66	富士カプセル株式会社	R4.9.21	R7.3
33	イマジン	H29.3	R7.3	67	株式会社 ニッポー	R4.9.21	R7.3
34	スマヤ株式会社	H29.4	R7.3				

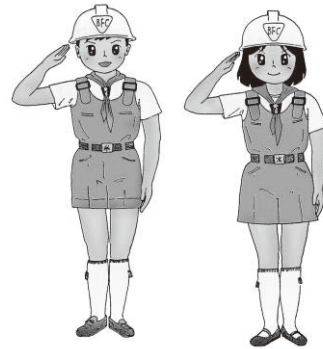
消防団協力事業所が、地域への社会貢献を果たしていることを、社会的に評価することにより協力事業所の信頼性の向上につながり、消防団と事業所等との連携・協力体制が一層強化されることによって、地域における消防・防災体制の充実強化を図ることを目的とする制度です。

令和5年4月1日現在、管内の67事業所に表示証が交付されています。

防火協力団体



防火安全協会



少年消防クラブ



婦人防火クラブ



幼年消防クラブ



富士宮市防火安全協会

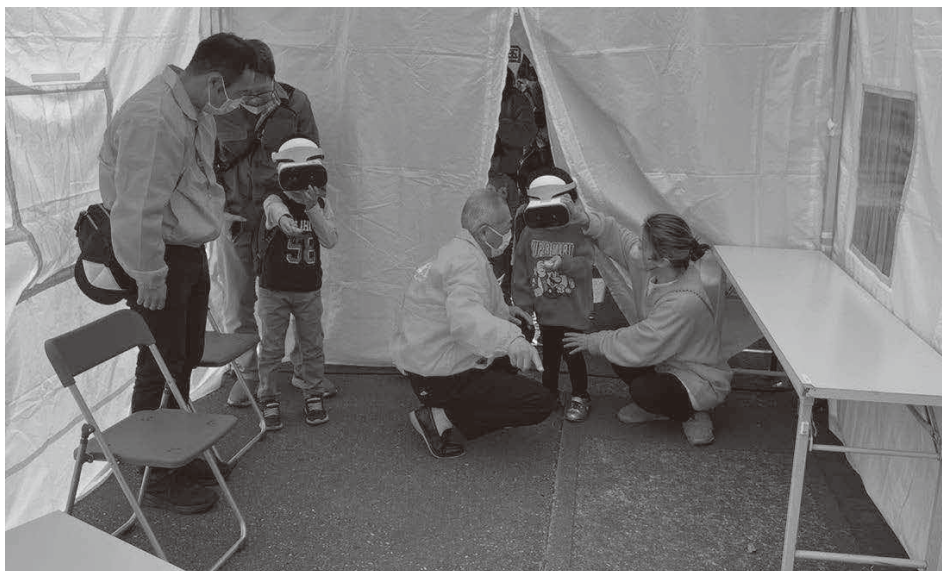
沿革

昭和40年 7月15日	富士宮市危険物安全協会設立
昭和48年 4月 1日	富士宮市芝川町危険物安全協会に名称変更
昭和59年10月11日	富士宮市芝川町防火協会設立
昭和60年 3月 7日	第1回消火技術競技大会の実施 (市立上井出小学校グラウンド)
平成 4年 5月26日	富士宮市芝川町防火安全協会発足
平成22年 3月23日	富士宮市防火安全協会に名称変更

防火安全協会は、会員数540事業所（令和5年4月1日現在）で組織され事業所の防火、危険物管理の向上と火災予防の徹底を図ることを目的に、富士宮市の事業所が会員となり運営しております。

協会の事業としては、他の防火協力団体と共催し、春秋の火災予防運動期間中の広報活動や防火ポスター展の実施、機関誌「そなえ」の発行を行っており、さらに、毎年開催される消火技術競技大会実技講習会（令和4年度は消火技術競技大会及び予備講習会に代えて実施）では、迅速かつ適切な通報、伝達、消火方法及び火災初期に対応する技術の習得を目的に実施しており、多くの事業所に参加していただいております。

その他にも、普通救命講習会などを開催し、幅広い活動を行っています。



消防フェアでAR消火体験指導

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体



婦人防火クラブ

沿革

昭和57年4月1日	富士宮市芝川町幼少年婦人防火委員会発足
昭和57年6月9日	富士宮地区婦人防火クラブ結成
昭和63年4月22日	富士宮市芝川町婦人防火クラブに移行
平成22年3月23日	富士宮市婦人防火クラブに名称変更

婦人防火クラブは、会員数60人（令和5年4月1日現在）で組織され、家庭における火災等の災害を自ら守るという精神に基づき、火災予防の知識や地震等の対策について研究し、火災のない明るい家庭づくりと、安全な地域社会をめざし昭和57年に結成されました。

毎年、実施している視察研修では、県内外の施設に赴き、施設見学や講義を通じて防火・防災の意識高揚を図ることを目的としています。

また、静岡県消防学校体験入校では、ロープの結び方、傷病者の搬送方法及び放水体験を行っています。

その他、消火技術競技大会に出場、消防フェスティバルや消防出初式に参加する等、防火に関する幅広い活動を行っています。



消防フェアにて広報活動を実施



少年消防クラブ

沿革

昭和57年 4月 1日	富士宮市芝川町幼少年婦人防火委員会発足
昭和60年 4月 1日	富士宮市立大宮小学校少年消防クラブ結成
昭和63年 4月 1日	黒田学童クラブ少年消防クラブ結成
平成22年 3月23日	富士宮市幼少年婦人防火委員会に名称変更
平成24年 4月 1日	児童クラブ吉美少年消防クラブ、富丘学童少年消防クラブ結成
平成28年 4月 1日	貴船学童少年消防クラブ結成
平成30年 4月 1日	あおぞら児童少年消防クラブ結成

少年消防クラブの目的は、少年（少女）たちが火災を予防する方法や火についての問題を身近な生活の中に見出し、お互いに研究してその結果を自分自身で実行するとともに、クラブ員が防火・防災について地域のリーダーとなることを目的としています。

年間を通じて、少年消防クラブ結成式、一日消防署体験、視察研修、消火器の取扱い訓練、花火教室、防火ポスターの作成等を実施するとともに、消防フェスティバルにも積極的に参加し、防火・防災意識の高揚を図っています。



**少年消防クラブ視察研修
(静岡県消防防災航空隊 静岡ヘリポート)**

概要

総務

火災

予防

警防

通信・指令

救助

救急

応援協定

消防団

防火協力団体



幼年消防クラブ

沿革

昭和57年	4月	1日	富士宮市芝川町幼少年婦人防火委員会発足
昭和59年	6月	1日	富士宮市内15幼稚園の幼年消防クラブ結成
平成3年	4月	1日	芝川町各保育園幼年消防クラブ結成
平成22年	3月	23日	富士宮市幼少年婦人防火委員会に名称変更

幼年消防クラブの目的は、幼年期を迎えた子供達に正しい火の取扱い方法と、消防の仕事をよく理解してもらうことで火遊び等による火災の減少を図り、更に幼年期に社会活動・集団活動を体験することによって自主性や協調性を養い、将来生命財産を守る能力と災害予防の意識を持つ大人となり、社会に貢献できる人間になることを期待するものであります。

現在、消防本部管内の幼稚園・保育園のうち、12園が同クラブを結成しています。6月～7月にかけて花火教室を開催し花火の正しい遊び方を学び、夏休みには防火ポスターを作成します。また、火災予防運動期間中には火災予防運動広報を実施し、その他にも消防フェスティバルに参加するなど積極的な活動を行っています。



令和5年春季全国火災予防運動(パロー三園平店)

あ と が き

この年報は、令和4年中の富士宮市における消防諸般の現況を収録したもので、合理的な運営と効果的な消防行政を推進するために編さんしました。

富士宮市消防本部

火事と救急は 119番

「消防年報」 令和4年版

編集・発行

富士宮市消防本部消防総務課
〒418-8601
静岡県富士宮市弓沢町150番地
電話 0544-22-1198
FAX 0544-22-1244



Mt. FUJI 10th

富士山世界文化遺産登録10周年記念
The 10th anniversary of the inscription of the world heritage Fuji-san